

教育に関する事務の点検・評価報告書

(令和3年度実施事業分)

仙南地域広域行政事務組合教育委員会

基本目標

1 視聴覚教材センター視聴覚教育計画

圏域住民一人ひとりが、心豊かに生きがいを感じ、絆づくりと互助・共助による活力があるコミュニティ形成を目指し、生涯を通じて自立・協働・創造に向けた学習活動を展開する中で、視聴覚教材センター（あずなびあ）では、各世代が様々な学習ニーズに応じて活用できる視聴覚教材・機材を整備し、さらに、地域に根ざしたテーマに基づく視聴覚教材制作を進めて、郷土愛、創造力豊かな人材育成を図ることで、圏域住民一人ひとりの生涯学習活動の更なる充実をめざす。

また、情報教育や英語教育が必要とされる今、圏域住民の様々な学習ニーズに応えるため、事業内容の見直しを図るとともに、今後の視聴覚教材センターの在り方についても調査・研究を行う。

2 仙南広域圏の振興発展に資する事業計画

本事業は、子どもたちが興味・関心を持つことのできる事柄を通じて、ことさらに自治体の枠を超えて、圏域の将来の文化活動を担う人材育成することを目標とする。

また、次代を担う子どもたちと地域の文化を『はぐくむ』ことをテーマとした事業を実施する。

3 仙南芸術文化センター（えずこホール）事業計画

仙南芸術文化センター（えずこホール）運営の基本コンセプトは、住民参加型文化創造施設。社会包摂の考え方を基本に、圏域住民の皆さんがホールを拠点にいきいきとアート活動を展開し、手作りで舞台を制作する。また、圏域内のさまざまな機関、団体、人と、連携、協働しながらアウトリーチ活動を展開することにより、アートによる人と地域の活性化の循環を促進し、仙南圏域をいきいきさせていくことを目指す。鑑賞事業については、各分野から質の高いものを招聘し、優れた舞台表現にふれていただくと同時に、ワークショップ等、住民の皆さんが気軽に参加体験できるプログラムを併せて開催。えずこホールが世界の窓となり広くアートを体験していただく機会として提供する。

令和3年度は、例年同様、創造発信事業、参加体験事業、鑑賞事業を、圏域内すべての住民を対象に、継続的に展開することにより、新しい時代の新しいアートによる創造的な人と地域づくりを推進していく。

I 事務の点検・評価について

1. 点検評価の趣旨

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定により、教育委員会は、毎年、その権限の属する事務の管理及び執行の状況について自ら点検評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに公表することとされています。また、点検評価を行うにあたっては、教育に関し学識経験者を有する者の知見の活用を図ることとなっています。

このため、教育委員会では、教育行政の効果的な推進を図るため、「教育に関する事務の点検・評価」を実施し、報告書にまとめました。

2. 点検評価の対象

令和3年度に教育委員会が定める「基本目標」に掲げた事務事業を対象としました。

3. 点検評価の方法

点検評価は、事務事業の必要性、効率性、有効性、公平性の観点から自己評価を行いました。また、客観性を確保するため、教育行政点検評価員会議を開催し、教育行政点検評価員として委嘱した外部の学識経験者（委嘱先については次頁参照）より意見をいただきました。

4. 結果の取り扱い

この点検評価の結果については、課題や問題の解決を行うと同時に事務事業の見直しについて検討することとなります。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うにあたっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

II 教育行政点検評価員会議について

1. 開催日時・場所

日 時：令和4年9月9日（金）10時00分～

場 所：仙南地域広域行政事務組合仙南芸術文化センター 会議室

2. 会議次第

1. 開会
2. 委嘱状の交付
3. あいさつ（当組合教育次長より）
4. 教育に関する事務の点検・評価について（令和3年度実施事業分）
5. 閉会

3. 教育行政点検評価員の略歴

○大脇 賢次 氏

性 別	男	年 齢	66 歳	在住市町	柴田町
加盟団体等	大河原町自作視聴覚教材制作グループ				
主要経歴	愛知県豊山町立豊山中学校講師 他4校の講師				
	宮城県柴田郡村田町立村田第一中学校教諭 他7校歴任				
	全国自作視聴覚教材コンクール入選（5回）				
	文部省奨励研究（郷土教材の開発）（平成4年）				
	宮城県視聴覚教育功労者表彰				
	緊急学校支援員（東船岡小学校及び船岡小学校） （平成28年度、平成29年度）				
	柴田町学び支援コーディネーター（柴田町教育委員会教育総務課） （令和元年度、令和2年度）				
大河原町自作視聴覚教材制作グループ会長					

○八巻 寿文 氏

性 別	男	年 齢	66 歳	在住市町	仙台市
加盟団体等	日本照明家協会				
主要経歴	舞台照明家、美術家				
	公益財団法人 仙台市市民文化事業団 職員				
	せんだい演劇工房 10-BOX 二代目工房長				
	せんだい3.11メモリアル交流館 元館長				
	日本照明家協会奨励賞				
	宮城県芸術選奨 文化庁長官表彰文化芸術創造都市部門				

Ⅲ 点検・評価の結果

1. 視聴覚教材・機材の整備及び貸出事業

事業目的	視聴覚教材・機材の適切に整備し、社会教育及び学校教育における学習活動場面での効果的な利用促進を図る。
事業名	① 視聴覚教材・機材の貸出 ② 学校教育・社会教育専門部会

成 果	課 題																																		
<p>① 視聴覚教材・機材の貸出</p> <p>視聴覚教材のうち、DVD教材については、新型コロナウイルスのワクチン接種会場での利用や前年度中止となったイベントの再開等により視聴者数の増となった。</p> <p>視聴覚機材については、ほとんどの機材において利用回数が横ばいまたは減少となったものの、オンライン配信支援機会の増に伴い、ビデオカメラの利用回数が大幅な増となった。</p> <p>令和2年度に整備したタブレット端末（iPad）やプログラミング教育用ロボット（スフィロミニ）については、単体での貸出は行っていないものの、講座の依頼による利用は増加している。</p> <p>○教材利用状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>教材種別</th> <th>利用回数</th> <th>視聴者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>DVD</td> <td>541回(575回)</td> <td>12,855名(9,456名)</td> </tr> <tr> <td>VHS</td> <td>23回(4回)</td> <td>185名(38名)</td> </tr> <tr> <td>16ミリ</td> <td>8回(27回)</td> <td>399名(1,707名)</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>25回(14回)</td> <td>257名(265名)</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>597回(620回)</td> <td>13,696名(11,466名)</td> </tr> </tbody> </table> <p>○機材利用状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>教材種別</th> <th>利用回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>プロジェクター</td> <td>240回(282回)</td> </tr> <tr> <td>スクリーン</td> <td>138回(144回)</td> </tr> <tr> <td>映像再生機器</td> <td>80回(101回)</td> </tr> <tr> <td>スピーカーセット</td> <td>22回(69回)</td> </tr> <tr> <td>ビデオカメラ</td> <td>46回(4回)</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>93回(170回)</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>619回(770回)</td> </tr> </tbody> </table> <p>※（ ）内の数字は、前年度実績</p>	教材種別	利用回数	視聴者数	DVD	541回(575回)	12,855名(9,456名)	VHS	23回(4回)	185名(38名)	16ミリ	8回(27回)	399名(1,707名)	その他	25回(14回)	257名(265名)	合計	597回(620回)	13,696名(11,466名)	教材種別	利用回数	プロジェクター	240回(282回)	スクリーン	138回(144回)	映像再生機器	80回(101回)	スピーカーセット	22回(69回)	ビデオカメラ	46回(4回)	その他	93回(170回)	合計	619回(770回)	<p>学校現場ではネットによる配信教材の利用が主流となりつつあり、今後はDVD教材等の利用率の低下が考えられる。利用者に対する新たな提案を検討するなど、これまでの事業形態にとどまらず、時代に柔軟に対応していく必要がある。</p>
教材種別	利用回数	視聴者数																																	
DVD	541回(575回)	12,855名(9,456名)																																	
VHS	23回(4回)	185名(38名)																																	
16ミリ	8回(27回)	399名(1,707名)																																	
その他	25回(14回)	257名(265名)																																	
合計	597回(620回)	13,696名(11,466名)																																	
教材種別	利用回数																																		
プロジェクター	240回(282回)																																		
スクリーン	138回(144回)																																		
映像再生機器	80回(101回)																																		
スピーカーセット	22回(69回)																																		
ビデオカメラ	46回(4回)																																		
その他	93回(170回)																																		
合計	619回(770回)																																		

成 果	課 題																		
<p>② 学校教育・社会教育専門部会</p> <p>視聴覚教材選定を行うにあたり、以下の日程で各教育専門部会を開催した。選定は、教材のカタログ（主にDVD）を事前に専門部員へ送付し行っているが、カタログに限らず希望する教材を提案いただき、ニーズの把握に努めた。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>区分</th> <th>参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">11月17日(水)</td> <td style="text-align: center;">学校教育専門部会</td> <td style="text-align: center;">12名</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">社会教育専門部会</td> <td style="text-align: center;">13名</td> </tr> </tbody> </table> <p>○令和3年度購入教材</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>社会</th> <th>理科</th> <th>その他</th> <th>A領域</th> <th>B領域</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">0巻 (0巻)</td> <td style="text-align: center;">2巻 (4巻)</td> <td style="text-align: center;">3巻 (7巻)</td> <td style="text-align: center;">6巻 (4巻)</td> <td style="text-align: center;">2巻 (4巻)</td> </tr> </tbody> </table> <p>※（ ）内の数字は、前年度実績</p> <p>※A領域は幼児・少年・青年向け、B領域は成人・婦人・高齢者向け。</p>	開催日	区分	参加者	11月17日(水)	学校教育専門部会	12名	社会教育専門部会	13名	社会	理科	その他	A領域	B領域	0巻 (0巻)	2巻 (4巻)	3巻 (7巻)	6巻 (4巻)	2巻 (4巻)	<p>専門部会で現場のニーズに基づいた教材を選定し購入しているものの、購入した教材の利用率が低く、選定の仕方を見直す必要があると思われる。現場のニーズも変化してきているため、教材に限らず、機材や教材センター事業に対する意見聴取を行うなど、会議内容の見直しも課題となっている。</p> <p>また、令和3年度は新型コロナウイルスの影響で行うことができなかった、小教研・中教研との連携・情報交換なども行い、ニーズの把握に努めたい。</p>
開催日	区分	参加者																	
11月17日(水)	学校教育専門部会	12名																	
	社会教育専門部会	13名																	
社会	理科	その他	A領域	B領域															
0巻 (0巻)	2巻 (4巻)	3巻 (7巻)	6巻 (4巻)	2巻 (4巻)															

有識者による意見・評価	意見に対する対応等
<p>○スタッフの少ない中で、地域や学校との連携、長年にわたる教材センター職員の努力が毎年感じられ、心から感謝している。令和2年度に比べ、成果が上がっていることがすごく感じられる。</p> <p>○今、各学校ではデジタル教科書が普及しているが、教材センターでも購入して利用できないものか。学校でどんな映像や教材が普及しているか、確かめる必要があるのではないか。</p> <p>○大きく全体を把握している人の意見よりも、顔が見えるようなところで現場にいる方の意見、あるいはその人の背景にいる人の意見を吸い上げるというような、網目の細かいネットワークを意識してニーズを吸い上げることが必要だと思う。</p>	<p>○学校現場でのGIGAスクール等の対応について、教材センターとしての専門性を活かし、仙南地域で一括して対応し、地域の子どもたちにとっても、先生たちにとっても、ノウハウの共有ができるような体制を作れるよう取り組んでいきたい。</p> <p>○より細かな意見を吸収できるよう、それぞれの事業で得たネットワークを活かし今後の事業につなげたい。</p>

<p>○時代とともにどんどんテクノロジーが進んでいく中で、現場のニーズとは反対に、先進事例や他の地域での事例など、手の届く事例もあるかどうか、研究する必要があるのではないか。</p> <p>○以前は教材センター含め、各市町村の教育委員会に派遣社会教育主事という立場で社会教育の支援を行う方がいたが、今はいない。それが社会教育のスキルにとっても影響があるのではないかと思う。</p>	<p>○他圏域の教材センターへの調査を行うなど、先進事例の把握に努めていきたい。</p> <p>○現在はその分、定数より一名減の体制となっている。現場のニーズに、より迅速に対応していくため、職員の補充を働きかけていきたい。</p>
--	---

2. 各種講座及び学習機会提供事業

事業目的	新しい知識や技術の習得を目指し、研修内容の充実を図るとともに、学習ニーズの拡大に対応した学習活動を支援する。
事業名	<p>① 初心者にやさしい かんたん！ビデオ講座（定員各8名、各4回コース）</p> <p>② 出前講座</p> <p>③ 出前事業（おでかけ！あずなびあ！）</p> <p>④ その他の事業</p> <p>⑤ えぞ☆スタ 2021 ～ディス is えぞこスタンス～</p>

成 果	課 題
<p>① 初心者にやさしい かんたん！ビデオ講座</p> <p>令和3年度からはパソコンとタブレット端末の両方に対応した講座を計画したものの、パソコンコースについては、新型コロナウイルス対策のため中止。タブレットコースについては、タブレットやデジタルカメラの基礎的な操作方法から、複数の画像や動画を組み合わせた映像編集方法の講義を行った。</p> <p>また、自作教材制作者を講師として招き、作品制作時の注意点等を学んでいただいたほか、仙南ふるさとC・Mグランプリの紹介と案内を行い、作品出品について働きかけを行った。</p>	<p>タブレットコースについては感染症対策を十分に行い開催したものの、依然外出を自粛する傾向もあり、受講者数は定員割れとなった。引き続き仙南2市7町の視聴覚教育指導員と連携し、市町広報誌等による講座の周知徹底、参加しやすい開催日時の設定等、受講者の増加につなげたい。</p> <p>また、時代に合わせた新たな講座の提案も検討していく必要がある。</p>

成 果			課 題																		
<p>○パソコンコース（A日程）※新型コロナ対策のため中止</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>受講者数</th> <th>受講率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5月10日(月)</td> <td rowspan="4">0名 (0名)</td> <td rowspan="4">0% (0%)</td> </tr> <tr> <td>5月17日(月)</td> </tr> <tr> <td>5月24日(月)</td> </tr> <tr> <td>5月31日(月)</td> </tr> </tbody> </table> <p>○タブレットコース（B日程）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>受講者数</th> <th>受講率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6月7日(月)</td> <td rowspan="4">2名 (2名)</td> <td rowspan="4">25% (25%)</td> </tr> <tr> <td>6月14日(月)</td> </tr> <tr> <td>6月21日(月)</td> </tr> <tr> <td>6月28日(月)</td> </tr> </tbody> </table> <p>※（ ）内の数字は、前年度実績 ※講師はセンター職員が担当 ※受講率：受講者数／定員×100 定員を超えた場合は100%とする。</p>			開催日	受講者数	受講率	5月10日(月)	0名 (0名)	0% (0%)	5月17日(月)	5月24日(月)	5月31日(月)	開催日	受講者数	受講率	6月7日(月)	2名 (2名)	25% (25%)	6月14日(月)	6月21日(月)	6月28日(月)	
開催日	受講者数	受講率																			
5月10日(月)	0名 (0名)	0% (0%)																			
5月17日(月)																					
5月24日(月)																					
5月31日(月)																					
開催日	受講者数	受講率																			
6月7日(月)	2名 (2名)	25% (25%)																			
6月14日(月)																					
6月21日(月)																					
6月28日(月)																					
<p>② 出前講座（出前 de あずなびあ）</p> <p>圏域住民の細かな要望にも応えられるよう、出前講座を実施。前年度に引き続き、iPadやオンライン会議アプリの使い方講座についての需要が高く、仙南2市7町で開催している各種講座への協力依頼を多くいただいた。</p> <p>また、前年度の課題として挙げられた、機器の追加整備については対応を行い、かねてより要望の寄せられていた、より大人数での講座も実施することができた。</p> <p>○タブレット（iPad）・オンライン会議（Zoom）講座</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>受講者数</th> <th>主催</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5月11日(火)</td> <td>7名</td> <td rowspan="5">角田市教育委員会 生涯学習課</td> </tr> <tr> <td>5月12日(水)</td> <td>6名</td> </tr> <tr> <td>3月8日(火)</td> <td>6名</td> </tr> <tr> <td>3月9日(水)</td> <td>7名</td> </tr> <tr> <td>3月16日(水)</td> <td>5名</td> </tr> </tbody> </table>			開催日	受講者数	主催	5月11日(火)	7名	角田市教育委員会 生涯学習課	5月12日(水)	6名	3月8日(火)	6名	3月9日(水)	7名	3月16日(水)	5名	<p>今後も市町との連携を図り、協力体制を築いていきたい。</p> <p>また、人事異動により職員が入れ替わる中で、質の高い講座を継続して提供できるよう、専門性の高いスキルの習得方法について検討していく必要がある。さらに、限られた職員数の中での新しいスキルの習得についても課題となっている。</p>				
開催日	受講者数	主催																			
5月11日(火)	7名	角田市教育委員会 生涯学習課																			
5月12日(水)	6名																				
3月8日(火)	6名																				
3月9日(水)	7名																				
3月16日(水)	5名																				

成 果			課 題
○タブレット (iPad) を使ったCMの作り方講座			
開催日	受講者数	主催	
7月2日(金)	6名	丸森町立大張小学校	
7月15日(木)	46名	蔵王町立宮中学校	
○オンライン会議 (Google Meet/Zoom) 講座			
開催日	受講者数	主催	
8月30日(月)	4名	蔵王町立永野小学校	
9月7日(火)	6名	大河原町 地域包括支援センター	
10月11日(月)	2名	仙南地域広域行政 事務組合消防本部	
11月25日(木)	1名	角田市立西根小学校	
○オンライン配信講座			
開催日	受講者数	主催	
10月18日(月)	3名	柴田町教育委員会 生涯学習課	
12月9日(木)	2名	大河原町教育委員会 生涯学習課	
2月8日(火)	2名	丸森町立耕野小学校	
2月14日(月)	2名		
○プログラミング (スフィロミニ) 講座			
開催日	受講者数	主催	
12月14日(火)	8名	角田市立角田小学校	
○ホームページ作成講座			
開催日	受講者数	主催	
1月12日(水)	1名	柴田町立西住小学校	
○オンライン会議 (Google Meet) ・ビデオ編集講座			
開催日	受講者数	主催	
1月15日(土)	27名	社会教育協会大河原支部	
合 計	141名 (154名)	18件開催 (9件開催)	
※ () 内の数字は、前年度実績			
※講師はセンター職員が担当			

成 果	課 題															
<p>③ 出前事業（おでかけ！あずなびあ！）</p> <p>各教育機関等と連携し、行事・イベント等の1プログラムとして当教材センター所有の機材・教材に触れてもらうものとして実施。スフィロミニを使ったプログラミング体験は、視覚的要素もあってか子どもたちからの関心も高く、遊びを通してプログラミング的思考を学ぶ良い機会になったと思われる。</p> <p>○プログラミング体験、ダンスワークショップ</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>参加者数</th> <th>主催</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10月18日(月)</td> <td>22名</td> <td>大河原町上谷児童館</td> </tr> </tbody> </table> <p>○プログラミング体験、ヴァイオリン体験</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>参加者数</th> <th>主催</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>12月24日(金)</td> <td>23名</td> <td>角田市横倉児童クラブ</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">合 計</td> <td style="text-align: center;">45名 (48名)</td> <td style="text-align: center;">2件開催 (2件開催)</td> </tr> </tbody> </table> <p>※（ ）内の数字は、前年度実績 ※講師はセンター職員・えずこホール職員・地域住民が担当</p>	開催日	参加者数	主催	10月18日(月)	22名	大河原町上谷児童館	開催日	参加者数	主催	12月24日(金)	23名	角田市横倉児童クラブ	合 計	45名 (48名)	2件開催 (2件開催)	<p>プログラミング体験の依頼が増えてきた一方、体験時に使用しているスフィロミニについて、現在11台所有しているが、児童館レベルの大人数での体験には対応しきれないため、今後どのようにしていくか検討を要する。</p> <p>今後も協働教育の一環として、本事業の定着・拡大に努めたい。</p>
開催日	参加者数	主催														
10月18日(月)	22名	大河原町上谷児童館														
開催日	参加者数	主催														
12月24日(金)	23名	角田市横倉児童クラブ														
合 計	45名 (48名)	2件開催 (2件開催)														

成 果	課 題															
<p>④ あずなびあフリースクール</p> <p>圏域の子どもたちを対象に、視聴覚教育教材を活用した無料講座を開催し、視聴覚教材センターの認知度を高めつつ、ICT教育やプログラミング学習用教材を活用し、地域の将来を担う子どもたちの能力向上を図ることを目的として令和3年度から実施。</p> <p>「スフィロとあそぶ日」では、小学4～6年生を対象に、遊びながらプログラミングに触れてもらおうと、簡単なコースを競争したりスフィロの動きで図形を描いてみたりと参加者同士で協力し合いながらプログラミングを体験いただいた。</p> <p>「屋外おやこ映画会」は、親子を対象に実施。雨天のため一度の延期、延期後の日程も雨天のため屋内での開催となったが、柴田町星を見る会の協力のもと、映画上映前には上映作品にまつわる星座のおはなし会を実施、会場内には満天の星空を映し出すなど、非日常的な空間で、ゆっくりと映画をご鑑賞いただいた。</p> <p>○スフィロとあそぶ日</p> <table border="1" data-bbox="240 1122 963 1223"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>参加者数</th> <th>会場</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7月31日(土)</td> <td>9名</td> <td>仙南芸術文化センター</td> </tr> </tbody> </table> <p>○屋外おやこ映画会</p> <table border="1" data-bbox="240 1319 963 1420"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>参加者数</th> <th>会場</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>9月18日(土)</td> <td>58名</td> <td>仙南芸術文化センター</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" data-bbox="240 1467 963 1518"> <tbody> <tr> <td>合計</td> <td>67名</td> <td>2件開催</td> </tr> </tbody> </table> <p>※講師はセンター職員が担当</p>	開催日	参加者数	会場	7月31日(土)	9名	仙南芸術文化センター	開催日	参加者数	会場	9月18日(土)	58名	仙南芸術文化センター	合計	67名	2件開催	<p>開催時期や頻度、会場の設定、周知方法等、より良い形態を今後も検討していく必要がある。</p> <p>また、地域団体との連携等、プログラムの充実を図り、幅広い参加者の募集に努めたい。</p>
開催日	参加者数	会場														
7月31日(土)	9名	仙南芸術文化センター														
開催日	参加者数	会場														
9月18日(土)	58名	仙南芸術文化センター														
合計	67名	2件開催														

成 果	課 題																																									
<p>⑤ その他の事業</p> <p>教材センター所有の配信機材を用いて、圏域団体のオンライン配信事業への協力を行った。令和3年度も多くの需要があり、前年度比で13回の増となった。</p> <p>また、全面的な支援にとどまらず、事前に主催者向けの配信講座等も実施し、配信現場にも最低1名は人員を割いてもらう等、人材の育成にも努めた。</p> <p>○p4c日米オンライン交流会</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>参加者数</th> <th>主催</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5月21日(金)</td> <td>42名</td> <td rowspan="2">蔵王高等学校</td> </tr> <tr> <td>6月25日(金)</td> <td>42名</td> </tr> </tbody> </table> <p>○「蔵王町郷土史講座」ライブ配信支援</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>参加者数</th> <th>主催</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>8月9日(月)</td> <td>24名</td> <td>蔵王町教育委員会</td> </tr> <tr> <td>8月22日(日)</td> <td>21名</td> <td>生涯学習課</td> </tr> </tbody> </table> <p>○「ママカフェオンライン」ライブ配信支援</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>参加者数</th> <th>主催</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>12月11日(土)</td> <td>8名</td> <td>蔵王町教育委員会 生涯学習課</td> </tr> </tbody> </table> <p>○「蔵王の魅力再発見フォーラム」ライブ配信支援</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>参加者数</th> <th>主催</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>12月25日(土)</td> <td>200名</td> <td>蔵王町ジオパーク推進室</td> </tr> </tbody> </table> <p>○「望ましい生活習慣の形成を目指す 歯・口の健康づくり web 公開研究会」ライブ配信支援</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>参加者数</th> <th>主催</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>12月7日(火)</td> <td>2名</td> <td rowspan="4">柴田町立西住小学校</td> </tr> <tr> <td>12月22日(水)</td> <td>8名</td> </tr> <tr> <td>1月12日(火)</td> <td>8名</td> </tr> <tr> <td>1月26日(火)</td> <td>40名</td> </tr> </tbody> </table>	開催日	参加者数	主催	5月21日(金)	42名	蔵王高等学校	6月25日(金)	42名	開催日	参加者数	主催	8月9日(月)	24名	蔵王町教育委員会	8月22日(日)	21名	生涯学習課	開催日	参加者数	主催	12月11日(土)	8名	蔵王町教育委員会 生涯学習課	開催日	参加者数	主催	12月25日(土)	200名	蔵王町ジオパーク推進室	開催日	参加者数	主催	12月7日(火)	2名	柴田町立西住小学校	12月22日(水)	8名	1月12日(火)	8名	1月26日(火)	40名	<p>オンラインを活用したイベントは、新型コロナウイルスの状況に関わらず、遠方の方向けに行う等の観点から、今後も一定数あると思われるため、広報活動による配信機器活用方法の提案を行っていきたい。</p> <p>また、主催者等への配信講座を開催することにより、配信機器を操作できる人材の育成にさらに力を入れ、当該機器の利用促進を図りたい。</p>
開催日	参加者数	主催																																								
5月21日(金)	42名	蔵王高等学校																																								
6月25日(金)	42名																																									
開催日	参加者数	主催																																								
8月9日(月)	24名	蔵王町教育委員会																																								
8月22日(日)	21名	生涯学習課																																								
開催日	参加者数	主催																																								
12月11日(土)	8名	蔵王町教育委員会 生涯学習課																																								
開催日	参加者数	主催																																								
12月25日(土)	200名	蔵王町ジオパーク推進室																																								
開催日	参加者数	主催																																								
12月7日(火)	2名	柴田町立西住小学校																																								
12月22日(水)	8名																																									
1月12日(火)	8名																																									
1月26日(火)	40名																																									

成 果			課 題
○柴田町成人式典ライブ配信支援			
開催日	参加者数	主催	
1月9日(日)	最大同時 視聴者数 153名	柴田町教育委員会 生涯学習課	
○大河原町成人式典ライブ配信支援			
開催日	参加者数	主催	
1月9日(日)	最大同時 視聴者数 127名	大河原町教育委員会 生涯学習課	
○柴田町図書館講演会ライブ配信支援 “図書館って面白い～図書館の魅力と活用法～”			
開催日	参加者数	主催	
1月22日(土)	最大同時 視聴者数 23名	柴田町教育委員会 生涯学習課	
○大河原中学校立志式ライブ配信支援			
開催日	参加者数	主催	
2月4日(金)	183名	大河原町立大河原中学校	
○オンライン稽古支援			
開催日	参加者数	主催	
2月20日(日)	18名	えずこヴァイオリン &チェロ♪アカデミー	
○大河原中学校卒業式ライブ配信支援			
開催日	参加者数	主催	
3月6日(日)	118名	大河原町立大河原中学校	
合計	—	16件 (3件)	
※ () 内の数字は、前年度実績			
※講師はセンター職員が担当			

成 果	課 題						
<p>⑥ えず☆スタ 2021 ～ディス is えずコスタンス～</p> <p>視聴覚教材センターの認知度、利用率の向上を目的の一つとして開催。平成 27 年度からは、かえっこプログラムを取り入れて「あずなびあまつり」として開催していたが、令和 2 年度から新型コロナウイルス感染症の影響により規模を縮小し、「えず☆スタ」として二部予約制で実施。</p> <p>令和 3 年度においても視聴覚教育指導員と連携し、プログラミング学習用教材「スフィロミニ」を使ったコーナー「えず☆スタ迷宮(ラビリンス)」を企画・運営した。常時多くの参加者で賑わった。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">開催日</th> <th style="text-align: center;">参加者数</th> <th style="text-align: center;">会 場</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">7 月 22 日(木・祝)</td> <td style="text-align: center;">604 名 (370 名)</td> <td style="text-align: center;">仙南芸術文化センター ／大河原町総合体育館</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ () 内の数字は、前年度実績</p>	開催日	参加者数	会 場	7 月 22 日(木・祝)	604 名 (370 名)	仙南芸術文化センター ／大河原町総合体育館	<p>今後も指導員の方々と工夫を凝らし、視聴覚教材センターの PR、視聴覚教材・機材の利用促進につながるプログラム作りを展開していきたい。</p>
開催日	参加者数	会 場					
7 月 22 日(木・祝)	604 名 (370 名)	仙南芸術文化センター ／大河原町総合体育館					

有識者による意見・評価	意見に対する対応等
<p>○内部でのスキルの継承、技術の継承、指導力といった専門性は、バトンを受け渡せる人事的配慮をしていかなければ現場に積み上がらない。また、スキルや技術があっても単純に人員が少ないために、走って擦り切れていくような状態では危険であり、課題が積み上がり可能性を捨てていくようなことにもなると思う。</p> <p>○参加人数にはあまり捉われず、内容で質を落とさないことの方が教育の現場では重要だと思う。そのためにも、人の安定、専門性を逃さない環境づくりが生命線だと感じる。</p>	<p>○「仙南の教育」ということで、当圏域の未来を左右する事柄でもあるため、専門性のある技術を持った職員が、短いスパンでの異動のルーティンにかからないような体制作りや適切な職員数の確保ができるよう、働きかけていきたい。</p> <p>○職員向けの研修等により、スキルの定着及び向上を図り、充実したプログラムを提供していきたい。</p>

3. 地域学習教材制作の促進と保存事業

事業目的	地域素材を生かした自作視聴覚教材制作の支援と利用促進を図り、地域学習の教育的な効果を高めるとともに、自作視聴覚教材のデジタル化と保存に努める。
事業名	① 仙南地区自作視聴覚教材発表会 ② 地域映像の保存と自作視聴覚教材制作への支援 ③ 自作視聴覚教材のデジタル化

成 果	課 題								
<p>① 仙南ふるさとC-Mグランプリ (仙南地区自作視聴覚教材発表会)</p> <p>自作視聴覚教材の制作技術の向上、教材制作の奨励及び自作視聴覚教材の整備充実を図るため、仙南ふるさとC-Mグランプリを開催。作品の上映後には、柴田町地域おこし協力隊の吉田謙治氏を講師に迎え、「スマホ・タブレットを使った撮影テクニック講座」を実施。カメラ機能や構図のポイント等、今後の作品づくりに活用したい撮影のコツを分かりやすくご講義いただいた。</p> <p>また、作品を募集するにあたり、教材性によらず地域の記録映像等についても広く募集することとしていたが、これまでの審査では教材性を第一に評価されていたため、要綱の見直しを行い、令和3年度より「記録映像部門」を新設した。</p> <table border="1" data-bbox="240 882 965 1010"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>作品数</th> <th>参加者数</th> <th>一般視聴者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2月26日(土)</td> <td>8作品 (6作品)</td> <td>5名 (11名)</td> <td>12名 (6名)</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ () 内の数字は、前年度実績</p> <p>○全国自作視聴覚教材コンクール(令和4年8月開催) 3作品推薦。</p>	開催日	作品数	参加者数	一般視聴者数	2月26日(土)	8作品 (6作品)	5名 (11名)	12名 (6名)	<p>新たな教材制作者の掘り起こしが継続的な課題となっている。今後も他地域での取り組みも参考にしつつ、制作者・出品作品が増えるような手段を検討していく必要がある。</p> <p>また、出品いただいた作品の発表機会の提供にも力を入れていきたい。</p>
開催日	作品数	参加者数	一般視聴者数						
2月26日(土)	8作品 (6作品)	5名 (11名)	12名 (6名)						
<p>② 地域映像の保存と自作視聴覚教材制作への支援</p> <p>地域素材を映像に記録・保存したり、地域映像を制作したりする意欲のある団体や個人に対して、センター職員が助言や編集等の支援をし、地域映像の保存を図るとともに、自作視聴覚教材制作への支援を行った。</p>	<p>生活様式や価値観の変化、さらには昨今の新型コロナウイルスの影響により継承が困難となっている地域文化は増えていると思われるが、教材(記録映像)制作支援の依頼は極めて少ない。各市町の視聴覚教育指導員などを通して状況を把握し、記録支援に取り組みたい。</p>								
<p>③ 自作視聴覚教材のデジタル化</p> <p>当教材センターでは数多くの自作視聴覚教材を所有しているが、そのうちのアナログ教材については、デジタル化を行っている。</p>	<p>今後も制作者に許可を得たものについてはYouTubeを使ったネット配信を進め、市町にとって有益な記録映像の提供を行っていく必要がある。</p>								

有識者による意見・評価	意見に対する対応等
<p>○当時のスライドをDVD化しても、非常に映像が粗い、あるいは内容的に現代に合っていないため、DVD化の意味があるのか。ただ新しいメディアに変換するのではなく、それを現代に活かすための一つのアプローチがあれば良いのではないかと。ただ、職員数が少ないこともあるので、大きな課題だと思う。</p>	<p>○DVDに記録するだけでなく、高画質化ができないか検討しているが、限られた予算の中では難しい部分もあり、ハード面だけではなくソフト面でも対応できる部分がないか等、今後とも検討していきたい。</p>

4. 各種関係団体との連携事業

事業目的	<p>学校教育及び社会教育関係、各地域の団体等と連絡提携を密にし、視聴覚教材センターとしての機能の充実と生涯学習体制の推進を図る。また、その学習要求に応えられるように情報提供の充実に努める。</p>
事業名	<p>① 諸会議関係 (1) 視聴覚教育指導員会議 (2) 学校教育・社会教育専門部会 (3) 社会教育等主管課長会議 ② 広報活動 ③ 現場訪問事業</p>

成 果	課 題
<p>① 諸会議関係 (1) 視聴覚教育指導員会議 構成市町の生涯学習課、公民館職員 9 名を指導員として委嘱し、視聴覚教材センターのPR活動や、教材利用の促進を図った。任期は2年となっている。 令和3年度は「仙南地域の親子のおでかけスポット」をテーマに映像制作を行い、完成した作品は仙南ふるさとCMグランプリへ出品。記録映像部門で優秀賞を受賞した。 また、完成した作品を指導員の所属する各市町の文化会館や観光施設等でも上映を行うなど、作品のPRにもつながられた。</p>	<p>令和3年度については、おでかけ！あずなびあ！等、他事業での連携が実現できなかったため、指導員と積極的に調整を図り、協働の場を増やしていくことが今後の課題である。</p>

成 果	課 題																
<p>○年6回開催</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">開催日</th> <th style="text-align: center;">内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4月22日(木)</td> <td>※新型コロナ対策のため中止</td> </tr> <tr> <td>5月25日(火)</td> <td>事業経過、えず☆スタ等</td> </tr> <tr> <td>6月10日(木) (臨時会)</td> <td>えず☆スタ等</td> </tr> <tr> <td>6月22日(火)</td> <td>えず☆スタ等</td> </tr> <tr> <td>7月21日(水)</td> <td>えず☆スタ(最終調整)等</td> </tr> <tr> <td>11月11日(水)</td> <td>仙南ふるさとC-Mグランプリ 作品制作、事業計画案等</td> </tr> <tr> <td>2月26日(土)</td> <td>仙南ふるさとC-Mグランプリ上映会、 事業計画案(最終調整)等</td> </tr> </tbody> </table>	開催日	内 容	4月22日(木)	※新型コロナ対策のため中止	5月25日(火)	事業経過、えず☆スタ等	6月10日(木) (臨時会)	えず☆スタ等	6月22日(火)	えず☆スタ等	7月21日(水)	えず☆スタ(最終調整)等	11月11日(水)	仙南ふるさとC-Mグランプリ 作品制作、事業計画案等	2月26日(土)	仙南ふるさとC-Mグランプリ上映会、 事業計画案(最終調整)等	
開催日	内 容																
4月22日(木)	※新型コロナ対策のため中止																
5月25日(火)	事業経過、えず☆スタ等																
6月10日(木) (臨時会)	えず☆スタ等																
6月22日(火)	えず☆スタ等																
7月21日(水)	えず☆スタ(最終調整)等																
11月11日(水)	仙南ふるさとC-Mグランプリ 作品制作、事業計画案等																
2月26日(土)	仙南ふるさとC-Mグランプリ上映会、 事業計画案(最終調整)等																
<p>(2) 学校教育・社会教育専門部会(再掲)</p>	(1-②と同様のため省略)																
<p>(3) 社会教育等主管課長会議</p> <p>予算、決算及び各種事業の実施状況等の説明のため、構成市町社会教育等主管課長会議を開催した。当組合教育委員会の事業を推進していくうえで、構成市町の社会教育等主管課長の意見や要望を聞き取る、肝要な会議である。</p> <p>○年2回開催</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">開催日</th> <th style="text-align: center;">内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5月28日(金)</td> <td>※新型コロナ対策のため中止</td> </tr> <tr> <td>11月19日(金)</td> <td>点検・評価、事業計画・予算案</td> </tr> </tbody> </table>	開催日	内 容	5月28日(金)	※新型コロナ対策のため中止	11月19日(金)	点検・評価、事業計画・予算案	<p>構成市町の理解を得て、よりよい事業を展開していけるよう臨みたい。</p>										
開催日	内 容																
5月28日(金)	※新型コロナ対策のため中止																
11月19日(金)	点検・評価、事業計画・予算案																
<p>② 広報活動</p> <p>視聴覚教材センター事業の案内と、教材・機材の利用促進、視聴覚教育に関する情報提供を行い、利用率の向上を目指した。センターだよりやしおりを見た方からの出前講座やオンライン配信支援の依頼を多くいただいた。</p>	<p>Facebook・Instagramの認知度が未だ低く、事業の告知等に十分に活用できていない。各種講座開催時等、今後も様々な機会継続的にPRに努めたい。</p>																

成 果	課 題				
<p>○広報種別</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教材センターだより（隔月発行） ・教育委員会要覧（5月発行） ・教材センターのしおり（5月発行） ・各種題名一覧（5月発行） ・教材センター事業の紹介チラシ（5月発行） ・えず☆スタ 2021（あずなびあまつり）チラシ（7月発行） ・Facebook、Instagram ページの更新 					
<p>③ 現場訪問事業</p> <p>当教材センターの事業のPRと現場のニーズを把握するため、現場訪問を重点的に実施してきたが、令和3年度については、新型コロナウイルス感染症対策のため、訪問事業については中止することとした。</p> <p>○訪問先：学校関係機関、保育所(園)、幼稚園、児童館（センター）等</p> <table border="1" data-bbox="240 1032 954 1133"> <thead> <tr> <th data-bbox="240 1032 544 1081">期 間</th> <th data-bbox="544 1032 954 1081">訪 問 数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="240 1081 544 1133">5月～12月</td> <td data-bbox="544 1081 954 1133">※新型コロナ対策のため中止</td> </tr> </tbody> </table>	期 間	訪 問 数	5月～12月	※新型コロナ対策のため中止	<p>書面でのアンケート実施やオンラインでの意見聴取等、コロナ下においても実施可能な方法を検討する必要がある。</p>
期 間	訪 問 数				
5月～12月	※新型コロナ対策のため中止				
有識者による意見・評価	意見に対する対応等				
<p>○広報活動においては、渡す方法やアイデアをもっと柔軟に考えられたら良いと思う。さらに利活用の事例もあれば良い。</p>	<p>○教材をご利用いただいた際に書いていただく利用報告書などの中から、利活用の事例として参考になるようなコメントを紹介し、利用者の増加につなげていきたい。</p>				

【仙南広域圏の振興発展に資する事業】

事業目的	<p>子どもたちが興味・関心を持つことのできる事柄を通じて、ことさらに自治体の枠を超えて、圏域の将来の文化活動を担う人材育成すること。また、次代を担う子どもたちと地域の文化を『はぐくむ』ことをテーマとした事業を実施する。</p>
事業名	<p>① AZ9 ジュニア・アクターズ養成事業 ② AZ9 アウトリーチ事業 ③ AZ9 パスポート事業</p>

成 果	課 題												
<p>① AZ9 ジュニア・アクターズ養成事業</p> <p>自治体の枠を越えて、圏域の文化活動を担う人材の育成を目的とした事業である。仙南2市7町の小学4～6年生を対象に募集を行い、応募者は在籍者とともに、演技、ダンス、音楽など舞台芸術に関する能力を磨いた。</p> <p>感染症対策を講じた上で活動を行い、令和3年度については夏合宿も例年通り、宿泊の形で実施することができた。公演のテーマである七ヶ宿町を会場に、七ヶ宿の自然の中で歴史や文化に触れた。2月12日・13日に予定していた公演は、宮城県の「緊急特別要請」を受け3月12日へ延期。その後、「緊急特別要請」期間延長を受け、公演は中止。特別上演の形で下記日程のとおり実施した。</p> <p>○令和3年度在籍者数 24名(33名)</p> <p>○第29回特別上演 「夏休みをとりもどせ!～七ヶ宿の勇者たち～」</p> <table border="1" data-bbox="240 1025 965 1167"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>来場者数</th> <th>会場</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3月26日(土)</td> <td>302名 (633名)</td> <td>仙南芸術文化センター</td> </tr> </tbody> </table> <p>※()内の数字は、前年度実績</p>	開催日	来場者数	会場	3月26日(土)	302名 (633名)	仙南芸術文化センター	<p>新型コロナウイルスの影響もあり、新規入団者の申し込みが少ない状況が続いている。また、育てる会(保護者の会)の負担が大きいことに対するマイナスイメージも一部で定着しつつあることから、今後、負担を軽減し参加しやすい環境を作っていくなど、保護者に対するアプローチの仕方も検討していく必要がある。</p>						
開催日	来場者数	会場											
3月26日(土)	302名 (633名)	仙南芸術文化センター											
<p>② AZ9 アウトリーチ事業</p> <p>レッスンの成果発表の場である。さらに、圏域住民へアクターズ活動の周知徹底、演劇への興味を喚起することを目的に実施した。</p> <table border="1" data-bbox="240 1509 965 1906"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>内 容</th> <th>会場</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7月12日(月)</td> <td>演劇 ワークショップ ※七ヶ宿小学校の 児童対象</td> <td>七ヶ宿町立 七ヶ宿小学校</td> </tr> <tr> <td>7月22日(木・祝)</td> <td>えぞ☆スタ 2021</td> <td>仙南芸術文化センター／大河原町 総合体育館</td> </tr> <tr> <td>10月30日(土)</td> <td>福祉まつり</td> <td>柴田町 地域福祉センター</td> </tr> </tbody> </table>	開催日	内 容	会場	7月12日(月)	演劇 ワークショップ ※七ヶ宿小学校の 児童対象	七ヶ宿町立 七ヶ宿小学校	7月22日(木・祝)	えぞ☆スタ 2021	仙南芸術文化センター／大河原町 総合体育館	10月30日(土)	福祉まつり	柴田町 地域福祉センター	<p>継続的に在籍者がいない町(蔵王町、七ヶ宿町、川崎町)のイベントへの出演や講師による体験ワークショップの実施など、活動を知ってもらう機会を増やし、仙南2市7町全てにメンバーがいる状態を目指したい。</p>
開催日	内 容	会場											
7月12日(月)	演劇 ワークショップ ※七ヶ宿小学校の 児童対象	七ヶ宿町立 七ヶ宿小学校											
7月22日(木・祝)	えぞ☆スタ 2021	仙南芸術文化センター／大河原町 総合体育館											
10月30日(土)	福祉まつり	柴田町 地域福祉センター											

③ AZ9 パスポート事業

仙南圏域及び県内6圏域の社会教育施設等の無料開放を受けることができるパスポートを、圏域内2市7町の小・中学校及び支援学校に配布している。

仙南圏域内相互利用施設については、前年度に新型コロナ対策のため、休館していた施設が再開したため、利用者数の増となった。相互利用以外の施設については、新型コロナウイルスのワクチンの接種会場として使われるなど利用制限のある施設があったため、全体としては減となった。

○パスポート利用状況

区分	施設数	利用者数
仙南圏域内 相互利用施設	7施設	1,997名 (1,246名)
仙南圏域内 相互利用以外の施設	7施設	1,210名 (1,415名)

※（ ）内の数字は、前年度実績

引き続きホームページ等を活用し、継続的に利用促進を図っていく必要がある。

有識者による意見・評価	意見に対する対応等
<p>○表現の分野というのは結果が見えにくいところで、それでも参加した達成感がどこで得られるか、どこに持ってきてどう作るか。「大変だったけど終わってみたらやって良かった」という気持ちを共有することが大切だと思う。</p> <p>○表立って見えないスタッフも見事だと思う。裏方には裏方の誇りや甲斐があり、それは子どもにも伝わる。卒業生が裏方でサポートして縁の下の力持ちになってくれていることも、目に見え実感できる成果だと思う。幕が開いて閉じるまでの間だけではなく、そこに至るプロセスを含め相乗効果が生まれる完成形は感じられる。今後も総合的に見て継続してほしい。</p>	<p>○本事業ではコミュニティアートの一つの形として、子ども同士、親同士の交流、また子ども世代と親世代の交流がクロスして生まれている。それをどう担保するかという中で、現在保護者に協力いただいている大道具・衣装の制作に関しては、負担を減らしつつも達成感があるものを検討し、大変さと達成感のバランスを調整していきたい。</p> <p>○令和4年度の公演は卒業生の脚本で行うことが決定した。人の循環ができることがこの事業の目指すところなので、そこは踏み外さないよう行っていきたい。</p>

1. 活力あふれる創造発信事業

事業目的	地域住民の主体的な活動として、ホールを拠点に通年で展開するプログラム。子どもから高齢者まで、幅広い年齢層の多様な方々が参加、協働してワークショップを重ね、音楽5団体の合同コンサート、演劇2団体の公演を、地元密着型の創造舞台として制作し内外に発信していく。各事業ともアートによる人材育成事業として取り組む。
事業名	<p>(1) 住民創造グループ</p> <p>①えぞシアター ②えぞヴァイオリン&チェロ♪アカデミー ③えぞウインド♪アンサンブル ④えぞ♪男声合唱団 ⑤えぞギター♪アンサンブル ⑥えぞ♪ゴスペル ⑦えぞボランティアスタッフ ⑧えぞキッズクラブ（託児ボランティアスタッフ）</p> <p>(2) 住民創造グループの公演</p> <p>①えぞシアター第23回公演「宇宙船艦エズコ」 ②えぞミュージック♪アカデミーコンサート24th ③AZ9ジュニア・アクターズ第29回特別上演 「夏休みをとりもどせ！～七ヶ宿の勇者たち～」 ④えぞ圏民企画劇場・・・（採択計5事業）【実施分】AZoo第8回公演「ハッピーライフエント」【中止分】第44回仙南合唱祭、AZ MUSIC FESTIVAL 24th、第16回新春コンサート～仙南地区ゆかりの教職員による～、DAN DAN DANCE & SPORTS 18th</p>

成 果	課 題
<p>(1) 住民創造グループ *詳細：R3事業報告書P8～P10参照</p> <p>①えぞシアター</p> <p>【概要】倉品淳子（劇団山の手事情社／俳優・演出家）を講師として迎えて15年目のシーズン。令和2年度に実施予定だった台本芝居の再挑戦を再度見送り、感染対策を充分に行いながら稽古を進め、8月に構成演劇による本公演「宇宙船艦エズコ」を実施した。医療従事者等の参加メンバーは、オンラインで参加するなど、工夫を重ね、歩みを止めない、貴重な一年となった。本公演の映像は、公演後にYouTubeで配信を行うなど、会場に足を運べない人たちなど幅広い対象者に情報発信も行った。アマチュア演劇の限界を超える活動の試みは続いている。●団員数（参加者数）：20名（昨年度22名） ●参加者延べ人数：700名*オンライン参加含む（昨年度550名）</p>	<p>リモートによる稽古、公演の配信への取り組みなど、コロナ禍における活動のあり方についての模索が続いている。また、世代間の意識を埋めながら劇団活動を継続する長期的な課題と同時に新規メンバーをどのように取り込んでいくかも直近の課題となっている。</p>
<p>②えぞヴァイオリン&チェロ♪アカデミー</p> <p>【概要】4歳～70代までの幅広い年齢層が所属する、えぞヴァイオリン&チェロ♪アカデミー。令和3年度は基礎を学びたい社会人を対象に、基礎から学べる合奏コースを拡充。新たなメンバーが加わり、アカデミーコンサートでは情操豊かなハーモニーを届けた。コロナ禍においても、アウトリーチを行うなど、前向きな姿勢で活動を続けてきた。個人レッスンで基礎を学びながら、合奏練習ではみんなで奏でる楽しさを味わっている。■えぞヴァイオリン♪アカデミー ●参加者数：12名（昨年度11名）●参加者延べ人数：431名/*オンラインレッスン含む（昨年度327名） ■えぞチェロ♪アカデミー ●（参加者数）：5名（昨年度5名） ●参加者延べ人数：147名（昨年度163名）</p>	<p>地域に還元する場として表現する場が減少していることが挙げられる。団体としての組織、運営力については、この数年で飛躍的にアップしてきているが、同時に中高生以降、進学や進路が主な原因で卒業するケースも多く、培ってきた組織、運営力の継続が課題となってきている。また、合奏スタイルにおいて表現力をどのように養っていくかも継続課題のひとつとなっている。</p>

成 果	課 題
<p>③えずこウインド♪アンサンブル</p> <p>【概要】定期練習は毎週火曜日、主に平土間ホールを会場に練習を行っている。前期は新型コロナウイルス感染拡大による休館期間があり合奏練習が思うようにはできなかつたものの、11月には、えずこミュージック♪アカデミーコンサートが2年ぶりに開催され、観客対面式のステージ参加に臨むことができた。後期の活動は、感染拡大の影響により、参加自由による個人練習やパート練習に切り替えるなどし、感染対策を講じながら活動を継続した。演奏する楽しさ、合奏の喜びをメンバー間でも確認するとともに音楽活動の火を灯し続けていくことも相互で確認し合いながら、コロナ禍における今後の展望を描く活動を続けている。</p> <p>●団員数(参加者数):37名(昨年度49名)</p> <p>●参加者延べ人数:887名(昨年度517名)</p>	<p>・コロナ禍において、団体の中核を担う中堅世代が、社会的責任が大きいこともあり、感染の状況によって参加が断続化し、活動の活性化に影響を与えている。また、幅広い世代で構成されていることから、継続課題としてきた世代間の意思疎通と演奏レベルの維持向上にも影響が出てきている。今後の運営方針や活動の軸となる目標設定なども更新していく必要がある。</p>
<p>④えずこ♪男声合唱団</p> <p>【概要】定期練習を金曜日に月3回、練習室3を会場に行っている。参加者の平均年齢が60代後半と住民創造グループの中で最も高齢化が進む男声合唱団。本年度は新型コロナウイルスの影響により定期演奏会について、有観客での開催は中止したものの、フェイスシールドの活用や広さのある練習会場にするなど工夫を凝らして練習を重ね、YouTube配信(令和3年6月20日開催、再生数1,000回超、参加者数23名)を行うなどチャレンジ精神を忘れず、活動している。</p> <p>●団員数(参加者数):13名(昨年度21名)</p> <p>●参加者延べ人数:536名(昨年度370名)</p>	<p>・コロナ禍においても、YouTubeによる配信コンサートなど意欲的に活動を続ける一方、参加者における高齢者率も高く、新規若年層の取り込みが継続的課題となっている。また、コロナ禍において、フルメンバーでの参加ができない状況を回避するなど課題解決に向けた取り組みを継続中である。</p>
<p>⑤えずこギター♪アンサンブル</p> <p>【概要】定期練習を毎週水曜日、練習室1、3を会場に行っている。本年度は、新型コロナウイルスの影響により、6月10日から活動を再開し、団員が密にならないよう平土間ホールにおいても練習するなど対策を行った。定期演奏会については、有観客での開催を中止し、新たな試みとしてYouTubeによる配信(令和3年7月31日、再生数430回超、参加者数30名)を行った。ワークショップやキャラバンについては、自粛となったが再び音楽や合奏の楽しさを届けられるよう日々の練習に取り組んでいる。</p> <p>●団員数(参加者数):30名(昨年度37名)</p> <p>●参加者延べ人数:1,320名(昨年度900名)</p>	<p>・自主運営の体制強化も図られ表現力についても安定しているが、アウトリーチの取り組みは、コロナ禍において活動を自粛しており、初心者育成についても課題が残る。一方、YouTubeによる配信など合奏のあり方や活動プログラムの見直しと再編を継続的課題としている。</p>
<p>⑥えずこ♪ゴスペル</p> <p>【概要】e☆GG改め、新体制となって活動を開始した「えずこ♪ゴスペル」。作曲家・ミュージシャンとして活動する猪狩太志を講師に迎え、日々技術を磨いている。さらにコロナ禍でも仙南地域をはじめ、圏外でのイベントにも精力的に参加し、幅広く活動を展開している。それぞれの個性を活かしたパワフルな歌声から紡ぎだされるハーモニーに、自然と体が動き出してしまうグルーブ感を魅力に参加者増強にも力を注いでいる。</p> <p>●団員数:13名(昨年度18名)</p> <p>●参加者延べ人数:289名(昨年度130名)</p>	<p>・コロナ禍で団体のリニューアルを図り、心機一転の活動を展開。団体の特徴やイメージの更新を通して、新規メンバーの獲得も直近の課題。また、組織再編による運営面と活動内容の見直しと多くの課題が浮上している。</p>

成 果	課 題
<p>⑦ えずこホールボランティアスタッフ</p> <p>【概要】 えずこホールの主催事業やイベントの際に、受付（もぎり・パンフレット配布など）や会場・客席誘導、バーカウンターサービスなどの接客サービス面をサポートするえずこホールボランティアスタッフ。ボランティアに参加する回数に応じてポイントを発行し、ポイントがたまると、えずこホールの主催事業の招待チケットなどがもらえる特典を導入しており、様々な作品に触れてもらう機会も提供している。また、研修会として「マルホンまきあーとテラス（石巻市複合文化施設）」にて現地のボランティアであるレセプションニストの方々との意見交流を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●団員数（参加者数）：27名（昨年度28名） ●参加者延べ人数：187名（昨年度108名） 	<p>・年に1～2名程度の新規参加がある一方、高齢化が進む中で、活動の積極性が緩やかに低下しつつある。今後は活動の魅力をいかに広く地域に発信し、ひとりでも多くの参加者を募ることも直近の課題となっている。また、サービス意識の向上や新型コロナ対応などの接客サービスに関わる研修等も継続的に行っていく必要がある。</p>
<p>⑧ えずこキッズクラブ（託児ボランティアスタッフ）</p> <p>【概要】 主催事業（公演事業）を子育て世代にもゆっくり楽しんでほしい気持ちから、開催時に託児ルームを開設し、1人500円というリーズナブルな金額で、お子様をお預かりする活動を行なっている託児ボランティア。また月に一度のペースで開催している「えずっこひろば」は0歳児から参加しており、子育て世代の保護者から高い人気を得ている。コロナ禍で町の子育てサロンが中止となり、行き場をなくしているママたちからは感謝の声が届いている。さらに毎回を工夫しながら、ミニイベントを開催し、子育て世代でも文化ホールに気軽に足が運べるよう取り組んでいる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●参加者数：9名（昨年度10名） ●参加者延べ人数：85名（昨年度83名） ●託児預かり数5名：全4公演（昨年度7名：全3公演） 	<p>・団体の主な活動の場である「えずっこひろば」において、創意工夫と人的交流が強化されつつあり、プログラムのバリエーションも安定してきている。一方、鑑賞事業での託児数が減少傾向は変わらず、コロナ禍における公演事業の減少から活動機会についても周知方法を踏まえ、見直していく必要がある。</p>

成 果	課 題														
<p>(2) 住民創造グループの公演 *詳細：R3事業報告書P12参照</p> <p>① えずこシアター演劇公演『宇宙船艦エズコ』</p> <table border="1" data-bbox="167 1523 949 1662"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>会場</th> <th>入場者数</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">令和3年8月28日（土）</td> <td rowspan="2">平土間ホール</td> <td>① 62名</td> <td>19名</td> </tr> <tr> <td>② 52名</td> <td>19名</td> </tr> <tr> <td>8月29日（日）</td> <td></td> <td>③ 76名</td> <td>19名</td> </tr> </tbody> </table> <p>【概要】 今作はスペースファンタジーに挑戦。ビデオ通話での出演や、マスクを酸素ボンベに見立てるなどコロナ対策を舞台上で活かす演出、さらに磨き上げてきた演技力と表現力で会場が宇宙船内へと様変わり。様々なオムニバスストーリーの中に込められたメッセージは観客の心を惹きつけ、笑い拍手が沸きおこった。3回公演ともに盛況で、新たな生活様式での住民劇団の可能性を予見させた。地元新聞に掲載されたほか、公演の配信を行うなど、地域の内外に大きく発信を行った。</p>	開催日	会場	入場者数	参加者数	令和3年8月28日（土）	平土間ホール	① 62名	19名	② 52名	19名	8月29日（日）		③ 76名	19名	<p>(* P19 記載の課題と同様)</p>
開催日	会場	入場者数	参加者数												
令和3年8月28日（土）	平土間ホール	① 62名	19名												
		② 52名	19名												
8月29日（日）		③ 76名	19名												

成 果	課 題										
<p>②えぞこミュージック♪アカデミーコンサート 24th</p> <table border="1" data-bbox="167 259 903 331"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>会場</th> <th>入場者数</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和3年11月28日(日)</td> <td>大ホール</td> <td>375名</td> <td>121名</td> </tr> </tbody> </table> <p>【概要】えぞこホールを拠点に活動をする5つの住民音楽グループによる合同コンサートを開催。さらに各団体でもオンラインでの自主公演を2回実施。昨年はコロナにより中止となり2年越しのコンサートに出演者をはじめ観客からも喜びの声があがった。出演者はもとより、表方、裏方スタッフもすべて住民の手で創りあげ、総勢121人が参加した。今年のテーマはすべての人に愛を届けたいという気持ちが込められた「はあとtoはあと」。各団とも、バラエティに富む楽曲が演奏され、会場からは温かい拍手が贈られた。</p>	開催日	会場	入場者数	参加者数	令和3年11月28日(日)	大ホール	375名	121名	<p>・コロナ禍が続く中で2年振りの開催となった。参加可能なメンバーが出演する一方、コロナの影響で活動を休止する参加者もいた。また、ロビーコンサート、出演者全員によるフィナーレは中止となり、公演当日、マスクの扱いなど団体により考え方の統一が図られなかった側面もあった。実行委員メンバーが毎年入れ替わる中で、課題の伝達やノウハウの蓄積にも課題が残る。</p>		
開催日	会場	入場者数	参加者数								
令和3年11月28日(日)	大ホール	375名	121名								
<p>③ AZ9 ジュニア・アクターズ第29回公演特別上演 『夏休みをとりもどせ！～七ヶ宿の勇者たち～』</p> <table border="1" data-bbox="167 725 903 808"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>会場</th> <th>入場者数</th> <th>入場率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和4年3月26日(土)</td> <td>大ホール</td> <td>302名</td> <td>81.6%</td> </tr> </tbody> </table> <p>(昨年度2回公演 301名・82.2%・174名、332名・90.7%・174名)</p> <p>【概要】仙南圏域2市7町の小学4年生～6年生で構成する児童劇団AZ9ジュニア・アクターズ。7月から約9か月間稽古を重ね、さまざまなワークショップでの体験・学習を経て創作に向けた活動を展開。野外での地域のイベントにも参加。今作は七ヶ宿町を舞台に、ダムで町が沈む前の世界に子どもたちがタイムリブ。ゲームの世界とリンクしながら、数々の試練を乗り越え成長していく姿を描いた作品。観客には涙する姿が多く見られた。2度の公演延期に歩みを止めることなく、公演に臨んだ出演者・関係者一同へ拍手が鳴りやまなかった。</p>	開催日	会場	入場者数	入場率	令和4年3月26日(土)	大ホール	302名	81.6%	<p>・事業継続については組合理事会にて継続の方針を固める一方、財政面を含めた関係各所との協議が必要となっている。また、運営面においては、育てる会（保護者の会）やOB/OGほか地域との連携についての課題が継続的に指摘されている。</p>		
開催日	会場	入場者数	入場率								
令和4年3月26日(土)	大ホール	302名	81.6%								
<p>④えぞこ圏民企画劇場 *詳細：R3事業報告書P14参照</p> <p>【概要】仙南地域に住む方々が地域に根ざして展開する企画を支援する事業。令和3年度は、下記5事業について審査会の採択を経て支援していく共催事業。どの事業についても参加対象は子どもから大人まで幅広く、それぞれ地域に根ざし充実した事業を展開を目指している。</p> <p>■ AZoo 第8回公演『ハッピーライフエンド』</p> <table border="1" data-bbox="167 1498 903 1603"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>会場</th> <th>入場者数</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和4年3月5日(土)</td> <td rowspan="2">平土間ホール</td> <td>27名</td> <td rowspan="2">11名</td> </tr> <tr> <td>3月6日(日)</td> <td>35名</td> </tr> </tbody> </table> <p>【概要】AZ9ジュニア・アクターズの卒業生による演劇プロジェクト。8作目となる本作もオリジナルの脚本と演出、舞台セットも手作りで製作。今回は、劇団創設以来最少人数となり、個々の負担が多くなったようだが、互いに士気を高めあい、積極的に意見を出し合い、共有することでより質の高い舞台へと作りあげていった。</p> <p>(新型コロナのため中止となった事業) ○第44回仙南合唱祭、○AZ MUSIC FESTIVAL 24th、○第16回新春コンサート～仙南地区ゆかりの教職員による～、○DAN DAN DANCE & SPORTS 18th</p>	開催日	会場	入場者数	参加者数	令和4年3月5日(土)	平土間ホール	27名	11名	3月6日(日)	35名	<p>・近年の傾向として、新規の申請が少ない状況が続いていることから、事業そのものの普及に向けた課題と同時に事業の見直しについても検討の余地がある。また、継続展開している事業については、明確な目標の設定と継続性、主催や運営に関わるスタッフの世代交代などがあげられている。</p> <p>・また、新型コロナの影響で事業実施を見送る傾向がある一方、今後、コロナ禍での開催のあり方を見直す動きも出ており、実施に向けた前向きな意識作りについても共有していく必要がある。</p>
開催日	会場	入場者数	参加者数								
令和4年3月5日(土)	平土間ホール	27名	11名								
3月6日(日)		35名									

有識者による意見・評価	意見に対する対応等
<p>えずこホールのさまざまな活動の中で、住民参加型の事業は、人づくりといえる。人が人に影響を与える事業であり、直接的な人づくりを可能にできる点で肥沃な土壌のように育てるプログラムと言える、素晴らしい取り組みだと感じている。</p> <p>人の繋がりや顔の繋がりを大切にするプログラムは、今後さらに進んでいく高齢化社会の中で、重要な役割を果たすと考えられる。</p> <p>例えばそれは、高齢者の安否確認として機能する。顔見知りの方々が集まることがそもそもの隠れた目的で、年4回ぐらいのプログラムでもそうした役割を大いに果たせるのではないかと考える。参加者が高齢化していくことをマイナス課題とせず、そうした側面を積極的に活かした事業の取り組みとして捉え、前向きに考えるべきだと思う。</p>	<p>・地域住民による参加型事業の意味合いについては、時代とともにそのあり方についても変化してきている。これらの表現活動は、アートの観点に加え、地域のコミュニティの重要性や地域を支える基盤を補完しうるシステムのひとつと位置付けることもでき、少子高齢化が進む時代背景に則した事業のあり方について、プログラム内容としても反映できるものがないかなど検討や協議を行う必要がある。</p>

2. うるおいの参加体験事業

<p>事業目的</p>	<p>幅広いジャンルの多様な体験型ワークショップを、老若男女誰もが参加しやすいプログラムとして各種開催する。また、なかなかホールに足を運ぶことができない方々に向けて、学校、福祉施設、各種イベント等において参加体験型のワークショップを中心としたアウトリーチを展開する。両事業とも、社会包摂型の普及・参加体験事業として制作し実施する。</p>	
<p>事業名</p>	<p>I アウトリーチ事業 i アーティスト編 (えずこキャラバン) (1)ダンスアウトリーチ ①楠原竜也 (ダンサー)、近藤理恵 (ダンサー) ②遠田誠 (ダンサー) ③スズキ拓朗 (ダンサー)、ぎたろー (ダンサー) ④ ISOPP (ダンサー) (2)音楽アウトリーチ ①片岡祐介 (音楽家) ②荒川洋 (フルート)、中川賢一 (ピアノ) ③村上敏明 (テノール)、中川賢一 (ピアノ) (3)その他アウトリーチ ①深澤孝史 (現代美術家) ②上田假奈代 (詩業家) ii 住民グループ編 (えずこキャラバン) II ワークショップ事業 i 各種オープンワークショップ ii ムラノジ 2021 (野点プロジェクト in 村田) iii えず☆スタ ~ディス is えずこスタンス~ (あずなびあまつり)</p>	
	<p>成 果</p>	<p>課 題</p>
	<p>I アウトリーチ事業</p> <p>i アーティスト編 *詳細: R3 事業報告書 P16 ~P 19 参照</p> <p>(1)ダンスアウトリーチ 11 回 参加者数 288 名 (昨年度 3 回、81 名)</p> <p>①楠原竜也 (ダンサー)、近藤理恵 (ダンサー) 2 回 参加者数 53 名 川崎小学校 (川崎 1)、大河原小学校 (大河原 1)</p> <p>②遠田誠 (ダンサー) 2 回 参加者数 35 名 三名生児童館、西住児童館 (柴田 2)</p> <p>③スズキ拓朗 (ダンサー)、ぎたろー (ダンサー) 5 回 参加者数 149 名 横倉小学校、角田小学校 (角田 4)、桜保育所 (大河原 1)</p> <p>④ ISOPP (ダンサー) 2 回 参加者数 51 名 村田小学校 (村田 2)</p>	<p>【全体の課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新たなアーティストやジャンルによるアウトリーチプログラムの提供。そのための全国的に幅広い情報収集力と人的ネットワークが必要。 ・アウトリーチ事業は、学校や施設との打ち合わせほか、アーティストの要望、事業によっては技術力も必要とされる。また、広域圏での実施には、質や量の担保も必要なほか、スタッフのコーディネート力やコミュニケーション力など専門性の高い人材育成も必要。

成 果	課 題
<p>【概 要】 国内のダンス界を牽引している第一線のアーティストによるダンスアウトリーチ。楠原竜也は、アイコンタクトダンスを核に子どもが自由な表現に触れるプログラムを展開。アシスタントの近藤理恵は、東京パラリンピック開会式でダンスを披露した旬なダンサー。</p> <p>遠田誠は、何気ない日常の一コマから踊りだす、変幻自在のダンサー。給食のメニューをダンスに仕立て上げる給食ダンスを子どもたちと創作。心も体も自然と踊りだすファシリテーションに、終始笑いの絶えない時間となった。</p> <p>人気ダンスカンパニー「コンドルズ」に所属、NHKのEテレ「みいつけた！」にレギュラー出演、「CHAIroiPLIN」（チャイロイプリン）を主宰するスズキ拓朗のアウトリーチは、音をダンスで表現し、みんなで当てるゲームや、自分の名前をダンスで表現するなど、どうしたら伝わるのか、表現することの楽しさを味わえるプログラムを展開。子どもたちの創造性と感性を引き出した。</p> <p>ISOPPは、時代に合った選曲を振り付けるメニューで、わずか90分間で1曲しっかりと踊れるようになるダンスプログラムを実施。人気のアーティストAdoの「踊」を踊り、学校のイベントでダンス発表ができると、先生方から高い評価をいただいた。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・少人数・小空間を基礎とするアウトリーチ事業に対し、公平性や平等性を重んじる教育的観点から、大規模校から手が上がりにくい状況がある。 ・少人数参加が基礎なるアウトリーチの分野では、生徒や児童など参加人数が、毎年変わり、単純に増減の幅で評価することは難しい性質の事業でもある。
<p>(2)音楽アウトリーチ 14回 参加者 714名（昨年度7回、326名）</p> <p>①片岡祐介（音楽家）5回 参加者 143名 大平小学校（白石1）、関保育所（七ヶ宿1）、北郷小学校（角田1）、耕野小学校（丸森1）、上谷児童館（大河原1）</p> <p>②荒川洋（フルート）×中川賢一（ピアノ）5回 参加者数 279名 船岡小学校（柴田1）、西根小学校（角田1）、金ヶ瀬小学校（大河原1）、館矢間小学校（丸森1）、富岡小学校（川崎1）</p> <p>③村上敏明（テノール）×中川賢一（ピアノ）4回 参加者数 292名 大河原中学校（大河原2）、柴田小学校（柴田1）、藤尾小学校（角田1）</p> <p>【概 要】 片岡祐介の音楽アウトリーチは、ピアノやジャンベなど打楽器をはじめ、音が鳴るものであればなんでも作曲に取り入れる自由なスタイルで、即興オーケストラや、世界の音楽巡り、作曲プログラムなどを行った。令和3年度で閉校となった耕野小学校では、全校児童でその場で「こうや」という曲を創作。子どもたちが過ごしてきた学び舎での、思い出が溢れる楽曲となった。</p> <p>フルート奏者の荒川洋と、ピアニスト中川賢一の宮城県出身の音楽アウトリーチ。演奏者本人がジブリ映画やドリフターズが出演したCMソングを、子どもたちの間近で演奏したことで、親しみやすい楽器へ早変わり。さらにピアノの構造をわかりやすく解説しながら、響板に触る体験などの参加型のプログラムに、時間を忘れて楽しんでいった。</p> <p>国内トップテノール歌手の村上敏明と、ピアニスト中川賢一によるアウトリーチは、冒頭の一音、一声から音楽の世界に引き込んだ。谷川俊太郎の歌や、カルメンなどをわかりやすく解説するとともに、ピアノコーナーでは、カメラとプロジェクターでピアノの細部を伝える工夫で、コロナ禍に即したメニューを展開した。児童からは感謝の言葉とともに盛大な拍手が贈られた。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の統廃合により対象の学校が減少している中、コロナの影響もあり、受け入れ先の確保が課題となっている。 ・プログラムは、質の高い演奏に、さらにカメラを導入するなどコロナ禍でも対応できるよう工夫を凝らした内容となっており、先生方からも好評を得た。今後ともコロナの感染対策に応じたプログラムの開発が課題である。 ・メディアの取材も入り、今後もメディアを活用した宣伝広報活動に力を入れていきたい。

成 果	課 題
<p>(3)その他アウトリーチ 9回 参加者数 137名</p> <p>①深澤孝史（現代美術家）6回 参加者数 99名 沼辺児童館（村田1）、角田支援学校白石校（白石2）、平沢小学校（蔵王1）、大河原小学校（大河原1）</p> <p>②上田假奈代（詩業家）3回 参加者数 38名 しらさぎ（柴田1）、寒風沢の家（村田1）、白石陽光園（白石1）</p> <p>【概要】 深澤孝史による美術アウトリーチとして、沼辺児童館と平沢小学校では、オリジナル双六を作成。支援学校と支援学級では、干物をつくるプログラムを実施した。においを嗅いだり、触ったり、音を聞いたり、食べてみたりと五感すべてを使用したプログラムは、子どもたちに大きな感動を与えた。</p> <p>大阪・西成を拠点に活動する上田假奈代による詩アウトリーチは、文字が書けない、読むことが難しい人が対象でも絵を描いたり、会話をすることを楽しみながら詩の創作を行った。コロナ禍で社会福祉施設での受け入れが難しい中だったが、参加した施設職員からは「外に出られず、イベントもできなかつたのでありがたい」との声をいただき、人とのつながり、アウトリーチの重要性を再確認した。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・美術アウトリーチでは、新たなアーティストを迎えたことで、新たな美術プログラムを開催することができ、人材・ジャンルともに広がりを見せた。さらに新たな人材を確保することが課題。また、特別支援学校とアートでつながりたいと開催したプログラムだが、学校のカリキュラムと調整ができず、単発の開催となった。今後、さらに回数を重ね、支援学校とつながれるようコーディネートが必要。 ・福祉施設を対象に開催したアウトリーチだったが、コロナの影響で受け入れ施設が少なく、コーディネートが難しかった。高齢者福祉施設は、外部の受け入れを禁止しているため、閉鎖的になっている印象があり、アートの力をどう活用してつながっていくかが課題。
<p>ii 住民グループ編 6回 参加者 226名（昨年度2回、48名） *詳細：R3事業報告書P20参照</p> <p>①えずこウィンド♪アンサンブルキャラバン3回 参加者数 162名 地域福祉センター、JA 槻木（柴田2）、白石蔵王駅（白石1）</p> <p>②えずこ♪ゴスペルキャラバン2回 参加者数 41名 船岡城址公園（柴田1）、うらにわアトリエ（大河原1）</p> <p>③おでかけ！あずなびあ！2回 参加者数 50名（昨年度2回、29名） 上谷児童館（大河原1）、横倉児童クラブ（角田1）</p> <p>【概要】 コロナ禍でも精力的に活動を続けるえずこウィンド♪アンサンブルによるアウトリーチ。少人数編成でキャラバンを行い、地域でのイベントを盛り上げた。</p> <p>迫力ある歌声に乗りやすい選曲で、会場を盛り上げるえずこ♪ゴスペル。簡単な振付やコール＆レスポンスで一体感を演出し、来場客を楽しませた。</p> <p>えずこホールとあずなびあ（視聴覚教材センター）の協働事業として行っているおでかけ！あずなびあ！。柴田町にある仙台大学と協力し、学生によるダンス体験を実施。さらにクリスマスイブに、えずこヴァイオリン＆チェロアカデミーによる演奏とヴァイオリンの分数楽器を使用しての楽器体験を実施。どちらの事業もボール型ロボットによるプログラミング体験をセットにして展開。横倉児童クラブで開催した楽器体験は、参加者全員がヴァイオリン初体験であり、伴奏に合わせベートヴェン第9の一小節を弾き上げた。様々なプログラムを通じて、各市町の教育機関との連携を図り、さらに地域を盛り上げていきたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・定例の活動以外に行う事業として、主にホールの外に出向いて展開する事業であることから、団体の運営状況に大きく影響しやすい。安定的な団体の運営を確保しつつ地域との繋がりを作っていく必要がある。 ・キャラバン事業の趣旨とその重要性については、各団体とも浸透しつつあり、今後、地域交流を図ることによって、活動のモチベーション強化に繋がっていくかが、事業の継続と強化に向けてのポイントになると考えられる。 ・また、このキャラバン事業は、地域のお祭りやイベントなど参加オファーを受けて実施されることが圧倒的に多く、今後地域内の活動がより活発になっていくかも事業の展開を決定づける大きな要因となっている。

成 果	課 題												
<p>II ワークショップ事業</p> <p>i 各種オープンワークショップ *詳細: R3 事業報告書 P21 ~参照</p> <p>○「えずっこひろば」10回 参加者数 200名 (昨年度 9回 182名)</p> <p>○「えずこ高校演劇サマーワークショップ」2回 参加者数 8名</p> <p>○「えずこダンスワークショップ」1回 参加者数 12名</p> <p>○「60歳からの楽しいクラブ活動」3回 参加者数 27名 (昨年度 3回 27名)</p> <p>【概要】</p> <p>○ えずこ託児ボランティアが月に1回開催している子育て広場。</p> <p>○ 高校の演劇部を対象に夏休みに開催しているワークショップ。ホールの機材を实际使用しての実践的な内容に、他校との交流もある。</p> <p>○ ダンサー・遠田誠によるダンスワークショップ。ダンス初心者でも楽しめる創作ダンスの世界を体験してもらった。</p> <p>○ 60歳以上を対象として開催しているクラブ活動。今年は、音楽家・ア片岡祐介による音楽ワークショップと詩人・上田假奈代による詩のワークショップを開催。</p>	<p>・多岐に亘るジャンルを幅広く実施するためには資金やマンパワーをどう確保し、幅広い対象に向けて実施していけるかは避けられない課題。</p> <p>また、アウトリーチ事業と同様に事業担当者のコーディネート力やコミュニケーション力を含め、専門性の高い人材育成も必要となってくる。その上で鑑賞事業との連携やアウトリーチ事業との連携など応用できることについても検討、研究していく必要がある。</p>												
<p>ii ムラノジ 2021 (野点プロジェクト in 村田)</p> <p>関連事業11回、野点1回 *詳細: R3 事業報告書 P22 ~参照</p> <table border="1" data-bbox="164 853 959 1003"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>事業</th> <th>会場</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和3年6月20日(日) ～11月18日(木)</td> <td>関連事業 お散歩会等</td> <td>村田町内</td> <td>204名</td> </tr> <tr> <td>10月10日(日)</td> <td>野点</td> <td>龍泉院</td> <td>194名</td> </tr> </tbody> </table> <p>【概要】全国各地で魅力あふれる野点をつくってきたきむらとしろうじんじん(美術家/陶芸家)。村田町内のどこで野点を開催するか、参加者らとまちを散歩しながら、魅力ある場所探しにより、深くまちの魅力を知るプログラムお散歩会を実施。野点開催に至る行程を20名余りの参加者のアイデアを取り入れながらオリジナルの野点＝ムラノジ2021を作りあげた。会場は村田町内の禅寺、龍泉院。古墳など貴重な遺産の麓にあり、当日は、歴史ツアーや座禅体験などの企画も実施。地元でも愛着を持つ多くの方々を中心に集まり、大好評を得た。また、コロナ禍における感染対策を行いつつ、人々が集まる場やイベントのあり方についても、参加したスタッフのそれぞれの考え方や思いを合わせ、開催する野点となった。</p>	開催日	事業	会場	参加者数	令和3年6月20日(日) ～11月18日(木)	関連事業 お散歩会等	村田町内	204名	10月10日(日)	野点	龍泉院	194名	<p>・令和2年度は村田町内の任アート団体(ブリコラージュ・ソシアル・クラブ)との共催で実施した野点(ムラノジ2020)だったが、ホールが直接主催となる野点開催は数年に1度となっており、特別なプログラムでもある。このことから開催に関わる参加者の意識格差なども生じており、継続性を含めた開催のあり方、支援のあり方などが大きな課題となっている。</p>
開催日	事業	会場	参加者数										
令和3年6月20日(日) ～11月18日(木)	関連事業 お散歩会等	村田町内	204名										
10月10日(日)	野点	龍泉院	194名										
<p>iii えぞ☆スタ～ディス is えぞコスタンス～(あずなびあまつり)</p> <p>*詳細: R3 事業報告書 P24 ~参照</p> <table border="1" data-bbox="169 1608 954 1680"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>会場</th> <th>入場者数</th> <th>スタッフ数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和3年7月22日(木・祝)</td> <td>※</td> <td>604名</td> <td>154名</td> </tr> </tbody> </table> <p>※えぞこホール全館、はねっこアリーナ</p> <p>【概要】コロナ禍においてどこにも行けない、遊べない、そうした窮屈な生活の中に安心して遊べる空間を作るという趣旨で企画したえぞ☆スタ(ディス is えぞコスタンス)。今年は「あそべる縁日、まなべる縁日」をテーマにさまざまな地域住民と協働で参加体験型のイベントを作りあげた。昨年に引き続き、2部予約入れ替え制で開催。運営側は「ワンアクション、ワンプッシュ」を合言葉に消毒等、感染対策を徹底して行った。様々なイベントが中止や縮小している最中、運営側として協力してくれた多くの地域住民もお客様として参加してくれた方々もみんな満足そうな笑顔がとても印象的だった。</p>	開催日	会場	入場者数	スタッフ数	令和3年7月22日(木・祝)	※	604名	154名	<p>・スタッフの不足の側面を住民グループの人的ネットワークや学生ボランティアなどへの声がけなど運営面の強化については改善策も図られつつ、更なる強化が課題。また、参加体験ブースの新規コンテンツの導入やプログラムの開発も課題である。</p> <p>・新型コロナ拡大の影響で、3密になりがちなかえっこバザールを使ったプログラムに代わるイベントとして、根本的な見直し図られてきたが、ポストコロナを見据えた新たな事業の模索についても課題となっている。</p>				
開催日	会場	入場者数	スタッフ数										
令和3年7月22日(木・祝)	※	604名	154名										

有識者による意見・評価	意見に対する対応等
<p>専門知識を有する人材育成という点においては、これだけの人数でこれだけの事業を行っているのは、高度な経験と知識を持つ人材がいるからだろう。現在職員減の状態ということだが、人事異動が付きものである直営館において、ノウハウの継承は大きな課題であり、異動のない専門職と異動のある職員とのバランスを考慮して継続する必要がある。</p> <p>更には言えば、地域の人々のために、顔が見えて仕事ができる実感をリアルに体験し、学ぶことができる貴重な現場環境であり、インリーチ的な視点で職員研修の受け皿の機能を隠し持っている。そこも注目して活かせるのではないかと思う。</p> <p>アウトリーチ事業などは中央（首都圏）と比べても遜色ない高いオリエティの内容だと思う。加えて、既にある内容をただ実施するだけでなく、プログラムに手を加え創意工夫をするなど、貪欲ともいえる取り組みが随所に見られ、このスタイルは仙台を含め県内でもえずこだけといってもいい存在感があると思う。</p> <p>これまで同様の焼きまわしの事業では変化していく社会に対応できず、まして後戻りはできない。変化を恐れず、むしろ変化することを意識して、積極的に取り組んでいってほしい。</p> <p>えず☆スタなど、えずこホールとあずなびあが協働する事業があるが、他の事業との相乗効果を生む可能性をもっと考えていくべき。他の自治体にはない、むしろ手本や前例となる、特徴のある組み合わせのできる部署として、縦割りを超えてハイブリットに発展拡大していってほしい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 専門職を配置や育成に努めなければならぬ点について、博物館等学芸員や図書館の司書などの資格等が明確ではないが、劇場、音楽堂等の事業の活性化のための取組に関する指針（平成25年文部科学省告示第60号）で示されており、こうした根拠の浸透も図っていく。 ・ 職員育成については、今後地域に開かれた住民サービス等の観点から職員育成の機能を果たせる受け皿になりうるかも含めて今後教育委員会内部でも検討していく。 ・ 広域圏で行える事業形態は、市町の垣根を超えて行えるメリットがある。こうした取り組みが時代の変化と共に進化し、時代により則したものにしていけるよう視野や見識を広げていく。 <p>また、全国的にも珍しい、文化・芸術とメディアを含む組み合わせをもった広域圏の教育委員会であることをより認識を深め、相乗効果が見込める取り組みなど、職員間の情報交換や連携し、研究を重ねていく。</p>

3. 心の鑑賞事業

事業目的	すぐれたアーティスト、アート作品との出会いは共感と深い感動をもたらす。そして、さまざまな感動体験は、人を変え地域を変えていく原動力となる。各分野から厳選し、親しみのある事業も織り混ぜながら、地域文化創造事業や圏民参加体験事業に結びつくような鑑賞事業を提供する。
事業名	①宝くじ文化公演 加藤登紀子 Concert2021 時には昔の話を ②子どもと舞台芸術大博覧会 inMIYAGI ③えずこクラシックフレンズ 中川賢一×村上敏明 ④トムプロジェクトプロデュース「にんげん日記」 ⑤【一般公演】アストル・ピアソラ生誕 100 周年記念公演 えずこプレミアムライブ 2021 パブロ・シーグレル ジャズ・タンゴ・アンサンブル スペシャルゲスト熊谷和徳 ⑥【中学生招待事業】アストル・ピアソラ生誕 100 周年記念公演 えずこプレミアムライブ 2021 パブロ・シーグレル ジャズ・タンゴ・アンサンブル スペシャルゲスト熊谷和徳 ⑦えずこ寄席 2022 入船亭扇辰 独演会 ⑧共催事業 NHK 公開収録「民謡をどうぞ ふるさとデリバリー in 大河原町」

成 果				課 題			
①宝くじ文化公演 加藤登紀子 Concert2021 時には昔の話を				<p>・幅広く親しまれ人気の高いアーティストの招聘は、宝くじ支援により予算面での負担も少なく開催できるというメリットがあるものの、本事業は、申請に対し採択が5年に1度程度という経緯から、同等の趣旨の事業開催は、毎年実施できないのが実情。メディア共催なども組み入れながら負担軽減を意識した事業取り組みが必要となる。</p>			
開催日	会場	入場者数	入場率				
令和3年6月26日(土)	大ホール	374名	98.2%				
<p>【概要】今年で歌手活動55周年という記念すべき年を迎えた加藤登紀子。2020年、コロナの影響で音楽イベントの自粛が続く中、1000人規模の大型公演を誰よりも早く行い、元気で勇気を全国に届けてきた。今回は宝くじの助成により特別料金での提供で、チケットは即完売。半世紀以上人々を魅了し続けた歌声が、しっとりと時には熱情的にホールに響き渡る度に、観客からは割れんばかりの拍手が贈られた。また客席には涙する姿も多く見られ、カーテンコールには客席からスタンディングによる惜しみない拍手が贈られた。</p>							
②子どもと舞台芸術大博覧会 inMIYAGI				<p>・子どものための舞台芸術見本市の全国版との側面を持つ子どもと舞台芸術大博覧会が東北初上陸。大博覧会の実行委員会及びみやぎ県子どもおやこ劇場とも連携し、仙台市内の複数の公共ホールでも連日で開催で大がかりな取り組みとなったこともあり、実施に向けては事務局等との調整期間が短く、事業の運営面でも苦慮する一幕もあった。一方で全国的なネットワークと繋がりを有することができた点をどのように活用し、その場だけでなくどう繋いでいくのが課題となる。</p>			
<p>【概要】1999年開催以来、東京オリンピックセンターを会場に毎年1万人以上が訪れるイベント「子どもと舞台芸術大博覧会」。今回は震災後10年を迎え、オリンピックイヤーという記念すべき年を迎えた宮城県で4日間にわたり開催。えずこホールをはじめ、エルパーク仙台、東京エレクトロンホール宮城を会場に、0歳から楽しめる30を超えるプログラムが開催された。えずこホールでは、以下の6公演と1ワークショップを実施。</p>							
開催日	会場	入場者数	入場率				
令和3年7月29日(木)	平土間ホール	41名	69.3%				
<p>○ル プチ プリンス Le Pettit Prince ～星の王子さま～ / 劇団鳥獣戯画</p> <p>【概要】軟体芸を得意とする劇団鳥獣戯画による演劇「星の王子さま」。コントーションと呼ばれる軟体芸(サーカス芸)と人形劇の組み合わせに、子どもたちの目は釘付けに。</p>							
○おやこでチャレンジ! 楽しいダンスワークショップ							
開催日	会場	参加者数					
令和3年7月29日(木)	平土間ホール	11名					

成 果	課 題																																		
<p>○オズの魔法使い with オーケストラ / 劇団かかし座</p> <table border="1" data-bbox="161 275 946 378"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>会場</th> <th>入場者数</th> <th>入場率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">令和3年7月29日(木)</td> <td rowspan="2">大ホール</td> <td>① 321名</td> <td>93.6%</td> </tr> <tr> <td>② 175名</td> <td>93.9%</td> </tr> </tbody> </table> <p>【概要】1952年創立し、日本で最初にできた現代影絵の専門劇団かかし座がえずこホールで20年ぶりに上演。オーケストラの生演奏で2公演実施。</p> <p>○Witty Look の Life' s a CIRCUS!!!! / チィキィ* パークウ</p> <table border="1" data-bbox="161 580 946 651"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>会場</th> <th>入場者数</th> <th>入場率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和3年7月30日(金)</td> <td>平土間ホール</td> <td>89名</td> <td>72.2%</td> </tr> </tbody> </table> <p>【概要】シルクドゥソレイユも認めた！高い一輪車技術にアニメの世界観とサーカスやクラウンを融合させたオリジナリティー溢れる一輪車コミックサーカス。</p> <p>○TAP DO! スペシャル・ショータイム！ / TAP DO!</p> <table border="1" data-bbox="161 853 946 925"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>会場</th> <th>入場者数</th> <th>入場率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和3年7月30日(金)</td> <td>大ホール</td> <td>76名</td> <td>22.2%</td> </tr> </tbody> </table> <p>【概要】面白くて華やか。笑い大爆発のステージ！！迫力のタップダンスと生演奏、心弾む太鼓のリズムやジャグリングも披露。</p> <p>○クローゼットQ / 劇団うりんこ</p> <table border="1" data-bbox="161 1093 946 1164"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>会場</th> <th>入場者数</th> <th>入場率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和3年7月30日(金)</td> <td>平土間ホール</td> <td>57名</td> <td>86.4%</td> </tr> </tbody> </table> <p>【概要】否応なしに旅に連れ出された高校生ユウキと、行きがかりでブラックバイトに引きずり込まれたフリーターのレナが、多種多様な他人の言い分や生き方を見聞きし、一歩踏み出す物語。</p>	開催日	会場	入場者数	入場率	令和3年7月29日(木)	大ホール	① 321名	93.6%	② 175名	93.9%	開催日	会場	入場者数	入場率	令和3年7月30日(金)	平土間ホール	89名	72.2%	開催日	会場	入場者数	入場率	令和3年7月30日(金)	大ホール	76名	22.2%	開催日	会場	入場者数	入場率	令和3年7月30日(金)	平土間ホール	57名	86.4%	
開催日	会場	入場者数	入場率																																
令和3年7月29日(木)	大ホール	① 321名	93.6%																																
		② 175名	93.9%																																
開催日	会場	入場者数	入場率																																
令和3年7月30日(金)	平土間ホール	89名	72.2%																																
開催日	会場	入場者数	入場率																																
令和3年7月30日(金)	大ホール	76名	22.2%																																
開催日	会場	入場者数	入場率																																
令和3年7月30日(金)	平土間ホール	57名	86.4%																																
<p>③えずこクラシックフレンズ 2021 中川賢一×村上敏明</p> <table border="1" data-bbox="161 1471 946 1543"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>会場</th> <th>入場者数</th> <th>入場率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和3年11月9日(火)</td> <td>大ホール</td> <td>160名</td> <td>41.1%</td> </tr> </tbody> </table> <p>【概要】昨年度開催し好評だった「0歳からのえずこクラシックデビューコンサート」。今年は多くの方に楽しんでいただくため、対象を一般にして開催されたピアニスト中川賢一とテノール歌手村上敏明によるスペシャルコンサート。クラシックファン、オペラファンをもうならせる圧巻のパフォーマンスと、軽快なトークに会場は大いに盛り上がった。さらに3回もの熱いアンコールに応えた。</p>	開催日	会場	入場者数	入場率	令和3年11月9日(火)	大ホール	160名	41.1%	<p>・本事業はコンセプトが非常に優れた趣旨を持っており、こうした事業の取り組みを継続すべきとの声もある一方、鑑賞系の事業は多種多様であり、予算面でも大きな負荷がかかることも多く、一筋縄とはいかないのが現状。</p> <p>今後は、2年に1度の開催を検討するなどコンセプト重視の事業取り組みについても工夫や研究を重ねる必要がある。</p>																										
開催日	会場	入場者数	入場率																																
令和3年11月9日(火)	大ホール	160名	41.1%																																

成 果	課 題								
<p>④トム・プロジェクトプロデュース「にんげん日記」</p> <table border="1" data-bbox="161 275 946 344"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>会場</th> <th>入場者数</th> <th>入場率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和3年11月12日(火)</td> <td>大ホール</td> <td>355名</td> <td>95.9%</td> </tr> </tbody> </table> <p>【概要】舞台は、昭和24年の戦後混乱期の日本。老朽化で休業している銭湯で繰り広げられる温かくも、切ない人間模様を豪華俳優陣が緻密に描き出した。数々の演劇賞を受賞している劇団座敷童子の東憲司が演出を手がけた。クライマックスでは、心に響く台詞、心の葛藤が現れた豊かな表現力に胸を打たれた観客たちが涙する姿が多く見られた。</p>	開催日	会場	入場者数	入場率	令和3年11月12日(火)	大ホール	355名	95.9%	<p>・上質な演劇作品の上演は、作品性が重視される一方、出演するキャストの知名度によってチケット販売が大きく影響することから、特に集客数の多い大ホールを会場とする場合、収益バランスが優先になる傾向がある。質の担保などバランスをどのように確保していくかが、事業費の確保と合わせ課題である。</p>
開催日	会場	入場者数	入場率						
令和3年11月12日(火)	大ホール	355名	95.9%						
<p>⑤【一般公演】アストル・ピアソラ生誕100周年記念公演 えずこプレミアムライブ2021 パブロ・シーグレレル ジャズ・タンゴ・アンサンブル スペシャルゲスト熊谷和徳</p> <table border="1" data-bbox="161 846 946 916"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>会場</th> <th>入場者数</th> <th>入場率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和3年12月2日(木)</td> <td>大ホール</td> <td>285名</td> <td>77.0%</td> </tr> </tbody> </table> <p>【概要】2018年グラミー賞受賞、アストル・ピアソラ五重奏団の最後のピアニスト”パブロ・シーグレレル”が来日。さらに国内トップ奏者たちによる、極上のジャズ・タンゴが会場に響き渡った。さらに日本が誇る世界のタップダンサー熊谷和徳を迎え、えずこだけのスペシャルライブが実現。セッションでは、どちらも譲らない超絶技巧に会場は大盛り上がり。スタンディングオベーションで締めくくった。</p>	開催日	会場	入場者数	入場率	令和3年12月2日(木)	大ホール	285名	77.0%	<p>・海外からの招聘については、特にワールドミュージックのジャンルで開催する傾向が多いものの、招聘元そのものが減っている影響で、選定においても多くの選択肢がない状態にある。国際紛争などの影響も大きく、こうしたジャンルの開催は貴重な機会になりつつある。また、本企画のようにオリジナルを加えた編成は制作力を要し、チケット販売ほか、コロナ対策などさまざまな課題が突き付けられる。世界の窓となるべき趣旨のコンセプトをどう担保できるか、情報収集力を含め強化が求められる。</p>
開催日	会場	入場者数	入場率						
令和3年12月2日(木)	大ホール	285名	77.0%						
<p>⑥【中学生招待事業】アストル・ピアソラ生誕100周年記念公演 えずこプレミアムライブ2021 パブロ・シーグレレル ジャズ・タンゴ・アンサンブル スペシャルゲスト熊谷和徳</p> <table border="1" data-bbox="161 1435 946 1505"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>会場</th> <th>入場者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和3年12月3日(金)</td> <td>大ホール</td> <td>491名</td> </tr> </tbody> </table> <p>【概要】新しい時代を担う青少年（大河原町・村田町・柴田町の中学2年生）を対象に、本物の舞台芸術を鑑賞・体験し、さらに芸術文化をとおして感性豊かな人材育成を図るため実施している中学生招待事業。今回は宮城県出身であり、世界で活躍するタップダンサー熊谷和徳を中心にプログラムが進行。どうしてタップダンサーになったのか、ここまでの道のりを本人から中学生たちに語られた。さらにパーカショニストのヤヒロが通訳を努め、パブロ・シーグレレルもピアニストになったいきさつを語ってくれた。世界トップクラスのアーティストによるパフォーマンスに、演奏中も「すごい」と中学生たちは声を漏らし、終始圧倒された様子だった。「それぞれの演奏が心に響いてきて、ただ感動するばかりでした」「タップダンスがすごく速くて、音を大きくしたり、小さくしておもしろかったです」「本格的な音楽を生で見るのは初めてで、気持ちがわくわくしました」等たくさんの感想が届いた。</p>	開催日	会場	入場者数	令和3年12月3日(金)	大ホール	491名	<p>・中学生招待事業は、毎年旬なものを提供しているが、作品やアーティストの選定については、その年によって招聘可能なものが異なる。例年、異文化に触れる機会を提供したいという基準で選定を試みているが、海外からの招聘という点で選定が難しく、生徒や学校側の希望の日程を調整できないことなどが課題としてあげられる。</p>		
開催日	会場	入場者数							
令和3年12月3日(金)	大ホール	491名							

成 果	課 題										
<p>⑦えぞこ寄席 2022 入船亭扇辰 独演会</p> <table border="1" data-bbox="161 275 946 380"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>会場</th> <th>入場者数</th> <th>入場率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">令和4年2月19日(土)</td> <td rowspan="2">平土間ホール</td> <td>① 88名</td> <td>88.0%</td> </tr> <tr> <td>② 89名</td> <td>89.0%</td> </tr> </tbody> </table> <p>【概要】どの席からでも鑑賞しやすい演芸場さながらの空間づくりにこだわり、えぞこ寄席ならではの距離感、臨場感を演出し、10年以上継続してきた。また、そうした趣旨が地域にも浸透し、定評がある噺家を招聘し続けることで、高い人気を博している事業である。今年、柔らかかで落ち着いた雰囲気と端正な口調、表情が変わるたびに情景がくっきりと浮かび上がる繊細な演技力の持ち主である入船亭扇辰が登壇。江戸の薫りが漂う職人芸に会場が沸いた。新型コロナウイルス感染対策の観点から、客席を半数以下に制限し、安心して鑑賞できる会場づくりにも努めた。</p>	開催日	会場	入場者数	入場率	令和4年2月19日(土)	平土間ホール	① 88名	88.0%	② 89名	89.0%	<p>・えぞこ寄席は、長年に亘り演芸場をイメージする会場の設えや、噺家と観客との距離感、噺家やネタ帳を元にコーディネートするなどオリジナルブランド事業となっている。継続性に加え、事業コンセプトをしっかりと維持し、えぞこ寄席ファンの期待にも答えられる取り組みが重要である。</p>
開催日	会場	入場者数	入場率								
令和4年2月19日(土)	平土間ホール	① 88名	88.0%								
		② 89名	89.0%								
<p>⑧共催事業 NHK 公開収録「民謡をどうぞ ふるさとデリバリー in 大河原」</p> <table border="1" data-bbox="161 853 946 925"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>会場</th> <th>入場者数</th> <th>入場率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和3年11月19日(金)</td> <td>大ホール</td> <td>268名</td> <td>82.2%</td> </tr> </tbody> </table> <p>【概要】大河原町と共催して開催されたNHKラジオ放送の公開収録。</p>	開催日	会場	入場者数	入場率	令和3年11月19日(金)	大ホール	268名	82.2%	<p>・メディアとの連携企画は、都市圏の大きなキャパシティを有しない中小規模の施設にとっては、連携が難しいとされる。連携の間口は閉じず、各種申請ほかメディアとのコンタクトも検討の余地があると考えられる。</p>		
開催日	会場	入場者数	入場率								
令和3年11月19日(金)	大ホール	268名	82.2%								
<p>有識者による意見・評価</p>	<p>意見に対する対応等</p>										
<p>鑑賞事業の感動体験は、地域や人々にとって長い時間を経てゆっくり浸透し、地域づくりに繋がっていく。いいものをぜひ継続してほしい。</p> <p>観客の反応も非常によく、観客も育っていると感じる。観客が安心して足を運んでくれているのは、やはり演目の質が高く、いいものだと分かっているからだろうし、その分、満足度も高いだろうと思う。</p> <p>鑑賞事業を含めた企画は、ある部分、担当者の皮膚感覚で嗅ぎ分けて決めていると感じる。これはとても重要なことで、経験や感覚を有するもの。えぞこホールが取り組む事業の3本の柱を含めて見たときに、非常に良いバランスで事業が行われている一方、課題も増えてきているが、全体的に方向性はよいと思う。</p>	<p>・観客と共に育っていくホールということを開館当初より鑑賞事業を中心に意識して開催してきたが、このことは一朝一夕ではなく、継続の賜物である。こうした評価に結びついていく現状をさらに進化させ、潤いと感性豊かな地域づくりに今後も尽力していく。</p> <p>・持てるノウハウを結集し、劇場機能のトータルバランスを維持しつつ、そのポテンシャルを最大限に引き出せるよう、後身を含む人材の育成にも最大限に取り組んでいく。</p>										

4. その他の（社会包摂型）事業

成 果	課 題
<p>■えぞこサンタプロジェクト</p> <p>【概 要】 地元の企業や団体より協賛金をいただきながら、就学援助制度を受けられているご家族の皆様を鑑賞事業へ無料でご招待するプロジェクト。今年で5年目を迎え、定着しつつある。新型コロナウイルス感性対策を講じての開催だったが、7事業24組69名の皆様にご鑑賞いただき、サンタさんへ多くの喜びと感謝のことばが贈られた。（昨年実績 計2事業7組20名）</p> <p>【2021年度ご協賛企業】 (有)山田防水工業、(株)サンケン・エンジニアリング、(株)墓石のやまいし、八重樫工務店、甘糟医院、(株)五光製作所、(株)タカヤ、東北環境整備(株)、減災みやぎ(株)、(株)津田印刷、(有)大久保庭園、ワートスナジー(株)、朝日工業(株)、(株)ヤンベ、明増寺、大河原ロータリークラブ、村田ロータリークラブ、柴田ロータリークラブ（敬称略・順不同）</p>	<p>・現在の対象は3町（大河原・村田・柴田）の児童・生徒としているが、今後仙南全域を対象にできるかなども検討を進めている。なお、対象を拡大する場合、協賛元も2市7町の団体・企業へ拡大する必要があり、事務的にも大きな労力が求められ、段階的な取り組みが必要と考えられる。</p>
<p>■職場体験受け入れ</p> <p>船迫中学校（4名×2日） 船岡中学校（9名×1日） 槻木中学校（8名×2日） 金ヶ瀬中学校（10名×1日） 計4校、31名（昨年度実績 計3校、13名）</p>	<p>・受け入れ人数によりプログラムの変化が求められたり、実施日の職員の出勤シフトや貸館などによって、当日のプログラム等コンテンツが大きく左右されるといった課題がある。</p>
有識者による意見・評価	意見に対する対応等
<p>えぞこホールの命題は、『支える』という言葉に尽きると思える。参加人数などは、時々で波があり、そうしたことに捉われず、質を高くし、個性を維持していくことが重要。それにはスタッフ人材が生命線である。現在職員減の状態ということだが、人員が少ないという実情はとても重く感じており、ぜひ、職員数を適正な状態に増やしていただくことを提言したい。</p>	<p>・社会包摂の取り組みは、今後さまざまな分野に広がり、その取り組みこそが少子高齢化を含むさまざまな社会問題と対峙し、人が人を支えていく地域の社会づくりに繋がるものと考え。その根幹を支えるノウハウと劇場の役割を果たす人材の確保については、最優先で努めていきたい。</p>